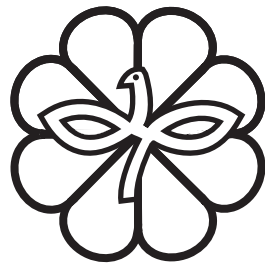


平成31 / 令和元年度

事業報告並びに収入支出決算報告書(案)



神奈川県民生委員児童委員協議会

# はじめに

平成 29 年度に民生委員制度は 100 周年を迎え、神奈川県民児協も平成 31/令和元年度に設立 50 周年を迎えました。令和という新たな時代の中で、社会の動向や民生委員・児童委員をめぐる状況も大きく変化してきていますが、「民生委員児童委員信条」に示される「奉仕性、隣人愛」「住民との信頼関係」「住民視点の活動」等、活動への姿勢や在り方は変わっていません。こうした想いや活動を、これからも長く受け継いでいくことの重要性を感じています。

平成 31/令和元年度は、大型で強い勢力の台風 19 号が関東地方を縦断、箱根町では総雨量が 1000 ミリに達するほどの、かつてない暴風雨により県内各地でも甚大な被害を受けるという困難な只中ではありましたが、広島県民児協、北海道民児連、岡山県民児協の皆さまよりご支援をいただき、我々も被災地民児協への支援を行うなど、全国民生委員・児童委員とのつながりを感じるときでもありました。また、年度末には新型コロナウイルス（COV I D-19）の世界的流行を受け、感染拡大防止のために研修や会議等が開催できず、苦渋の決断をしなければなりませんでした。

このような中でも、地域共生社会の実現に向けて、幅広い関係機関・団体との連携・協働のもと、課題を抱えた地域住民の早期発見と支援への「つなぎ役」としての役割に期待が高まっていること、一斉改選で新たな仲間が加わったことから、これまでの活動の引継ぎが重要な時期と捉え、次の項目を重点目標に掲げて事業に取り組みました。

重点目標1「個別支援活動の基本となる幅広い知識の習得」として、一斉改選で新たな仲間が加わる 12 月に向けて、今期 3 年間の取り組みを振り返り、市町村民児協会長としての役割を確認する機会として研修を実施しました。また、地区会長研修会でも「仲間の委員とよりよい関係を築くためのヒント」をテーマに学びを深めました。

重点目標 2「子どもや子育て世帯と地域で支えるための活動の推進」として、ブロック活動の共通課題に「民生委員が児童委員を兼ねることの理解促進について」を据え、各ブロックの状況に応じて活動を行いました。また、「孤立している子育て家庭」をテーマに、重ねて会議を開催したことで理解を深め、関わり方について協議を行うことができました。さらに、平成 30 年度に「児童委員活動基盤づくり委員会」にて検討した内容を整理し、「神奈川県民児協版児童委員・主任児童委員活動の手引き」を発行しました。

重点目標 3「民生委員児童委員活動を支える基盤づくりの強化」として、「市町村民児協事務担当者会議」「県行政と常任理事との懇談会」を実施し、日常的な情報交換や意見調整が十分に行われるよう配慮しました。また、地域版活動強化方策への取り組みも着実に進んでいます。

重点目標 4「神奈川県民児協設立 50 周年に向けた取り組み」として、神奈川県民児協設立 50 周年記念シンポジウムを開催し、これまでの活動を振り返り、次の世代につなげるための機会となりました。また、昨年度誕生した県民児協キャラクターの名前が民生委員・児童委員からの公募により「みんぴょん」に決定し、市町村・地区民児協においても活用されるようになりました。

令和 2 年度も、緊急事態宣言発令や「新たな生活様式」が示される中、これまでにない生活・活動の仕方が求められることとはなりますが、「和顔愛語」の精神で「凡事を徹底」し、誰もが安全・安心に暮らせる地域をめざして、皆さまと共に活動を進めてまいりたいと存じます。引き続き、会員並びに関係機関のご協力とご理解をいただきたく、心よりお願い申し上げます。

令和 2 年 6 月

神奈川県民生委員児童委員協議会

会 長 桐 生 行 雄

# も く じ

はじめに

## 事業報告

1. 会務の運営と企画調整機能の強化	1
(1) 会務の運営	1
(2) 企画調整機能の強化	6
(3) 市町村民児協事務局との連絡調整	8
(4) 関係機関・団体との連絡調整	9
(5) 会員慶弔事業の実施	9
2. 神奈川県民児協設立 50 周年に向けた取り組み	11
3. 個別支援を基本とした民生委員・児童委員活動の確立、地区民児協活動の強化	11
(1) 地域福祉活動促進費の交付	11
(2) 民生委員児童委員活動推進事業の指定	23
(3) ブロック活動の役割の確認と活動強化に向けた支援	25
(4) 民生委員・児童委員活動に伴う保険加入促進助成事業の実施	29
(5) 生活福祉資金の積極的活用、社協との協働の促進	30
4. 児童委員活動の強化（基盤づくり）	30
(1) 児童委員・主任児童委員連絡会議の開催	30
(2) 児童委員・主任児童委員活動推進会議の開催	30
(3) 神奈川県民児協版児童委員・主任児童委員活動の手引きの発行	31
5. 研修事業の実施（本会主催研修事業）	31
(1) 市町村会長研修会	31
(2) 地区会長研修会	31
(3) 課題別集中講座	32
6. 情報提供の強化	32
(1) 『県民児協だより』の発行	32
(2) 民生委員児童委員活動の広報の強化	34

7. 全国・関東ブロック会議等への参加	34
8. 関連団体・機関との連携、協働	34

## 決算報告

一般会計収入支出決算書	38
貸借対照表	42
固定資産増減明細書	43
積立金明細書	43
財産目録	44
監査意見書	47



# 事業報告

## 1. 会務の運営と企画調整機能の強化

### (1) 会務の運営 経費： 1, 264, 712円

役員会は、正副会長会議を4回、常任理事会を4回、理事会を6回（うち1回は書面審議）、総会を3回（うち1回は書面審議）、監事会を1回開催し、本会の適正な運営ならびに具体的活動の方針を協議した。

#### ① 正副会長会議 4回

開催期日	議 題
1. 5. 13	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 平成30年度事業報告並びに収入支出決算報告（案）について</li> <li>2. 令和元年度収入支出補正予算（案）について</li> <li>3. 『神奈川県民児協版児童委員・主任児童委員活動の手引き』（案）について</li> <li>4. 民生委員児童委員活動PR事業について</li> <li>5. 地域版・神奈川県版「民生委員児童委員活動強化方策」について</li> <li>6. 市町村会長研修会（案）について</li> <li>7. 民生委員児童委員活動推進事業について</li> <li>8. 児童相談所所長と常任理事との連絡調整会議（案）について</li> <li>9. 退任記念品について</li> <li>10. 全国民生委員児童委員大会における優良民児協の推薦について</li> </ol> <p>■報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 県民児協事務局体制の変更について</li> <li>2. 県民児協の年間予定について</li> <li>3. 第1回総会ならびに県民児協設立50周年記念シンポジウム（地区会長研修会）の役割分担について</li> <li>4. 関東ブロック民生委員児童委員活動研究協議会について</li> <li>5. 『福祉タイムズ』5面執筆協力について</li> <li>6. 民生委員児童委員の手引きについて</li> <li>7. 平成30年7月豪雨災害被災地への民生委員・児童委員支援募金のお礼について</li> </ol>
1. 8. 26	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地域版・神奈川県版「民生委員児童委員活動強化方策」について</li> <li>2. 一斉改選に伴う準備について <ol style="list-style-type: none"> <li>① 県民児協役員選任の手順について</li> <li>② 臨時総会の役割分担・地区民児協会長研修会（案）について</li> <li>③ 次期広報委員・通信員について</li> <li>④ 退任記念品について</li> </ol> </li> <li>3. 民生委員児童委員活動PR事業について</li> <li>4. 児童相談所所長と常任理事との連絡調整会議について</li> <li>5. 全国民生委員児童委員大会の参加にかかる往路旅費について</li> <li>6. 新任民生委員児童委員研修事例報告者等の協力について</li> <li>7. 令和元年度第4、5回常任理事会の日程について</li> </ol> <p>■報告事項</p>

	<ol style="list-style-type: none"> <li>「ひきこもりの現状と支援に関する調査」の結果について（県地域福祉課より）</li> <li>県民児協事業の予定ならびに進捗状況について</li> <li>退任にかかる引継ぎ事項について</li> </ol>
1. 10. 25	<ol style="list-style-type: none"> <li>台風 19 号による対応について</li> <li>地域版・神奈川県版「民生委員児童委員活動強化方策」について</li> <li>令和 2 年度各種助成事業について</li> <li>民生委員児童委員 PR 事業について</li> <li>県行政と県民児協常任理事との懇談会について</li> <li>役員慶弔収支報告書（案）について</li> <li>令和元年度事業の進捗状況ならびに今期の振り返り</li> </ol> <p>■報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>県民児協事業の予定について</li> </ol>
2. 2. 10	<ol style="list-style-type: none"> <li>令和 2 年度民児協事業計画ならびに収支予算について(案) <ol style="list-style-type: none"> <li>①-1 事業計画について(案)</li> <li>①-2 各種助成事業について</li> <li>②収支予算について(案)</li> </ol> </li> <li>令和 2 年度県民児協役員会・総会の年間予定について</li> <li>令和 2 年度第 1 回総会の役割分担について</li> <li>県民児協の監事・顧問について</li> </ol> <p>■報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>県民児協事業の予定について</li> <li>令和元年度県民児協事業の執行状況について</li> </ol>

② 常任理事会 4 回

開催期日	議 題
1. 5. 24	<ol style="list-style-type: none"> <li>平成 30 年度事業報告並びに収入支出決算報告（案）について</li> <li>令和元年度収入支出補正予算（案）について</li> <li>『神奈川県民児協版児童委員・主任児童委員活動の手引き』について</li> <li>民生委員児童委員活動 PR 事業について</li> <li>地域版・神奈川県版「民生委員児童委員活動強化方策」について</li> <li>市町村会長研修会（案）について</li> <li>全国民生委員児童委員大会における優良民児協の推薦について</li> <li>民生委員児童委員活動推進事業について</li> <li>児童相談所所長と常任理事との連絡調整会議（案）について</li> <li>退任記念品について</li> </ol> <p>■報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>県民児協事務局体制の変更について</li> <li>県民児協の年間予定について</li> <li>第 1 回総会ならびに地区会長研修会の役割分担について</li> <li>関東ブロック民生委員児童委員活動研究協議会について</li> </ol>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>5. 『福祉タイムズ』5面執筆協力について</li> <li>6. 平成30年7月豪雨災害被災地への民生委員・児童委員支援募金のお礼について</li> </ul>
1.9.9	※ 台風15号の影響で中止
1.11.8	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 台風19号による対応について</li> <li>2. 地域版・神奈川県版「民生委員児童委員活動強化方策」について</li> <li>3. 令和2年度各種助成事業について</li> <li>4. 令和元年度民生委員児童委員活動推進事業の審査について</li> <li>5. 民生委員児童委員PR事業について</li> <li>6. 県行政と県民児協常任理事との懇談会について</li> <li>7. 役員慶弔収支報告書(案)について</li> <li>8. 令和元年度事業の進捗状況ならびに今期の振り返り</li> <li>9. 第4、5回常任理事会の日程について</li> </ul> <p>■報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1. 県民児協事業の予定について</li> <li>2. 神奈川県「LINE相談」について</li> </ul>
2.1.15	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 県民児協の顧問について</li> <li>2. 県行政と常任理事との懇談会について</li> <li>3. 第2回総会の役割分担について</li> <li>4. 第3回地区民児協会長研修会について</li> <li>5. 令和元年度民生委員児童委員活動推進事業の再審査について</li> <li>6. 広報委員会委員の委嘱について</li> <li>7. 全国大会・研修会等の派遣について</li> <li>8. 役員慶弔について</li> <li>9. 各種外部委員会の委員委嘱について</li> <li>10. 今後の県民児協の方向性について</li> </ul> <p>■報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1. 県民児協事業の予定について</li> </ul>
2.2.27	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 新型コロナウイルス(COVID-19)に伴う各種事業の対応について</li> <li>2. 令和2年度民児協事業計画ならびに収支予算について(案) <ul style="list-style-type: none"> <li>① 事業計画ならびに収支予算について(案)</li> <li>② 令和2年度地域版活動強化方策の策定支援助成事業(案)について</li> </ul> </li> <li>3. 総合企画委員会の委員選出について</li> <li>4. 令和元年度民生委員児童委員活動推進事業の審査について</li> <li>5. 令和2年度県民児協役員会・総会の年間予定について</li> <li>6. 令和2年度第1回総会の役割分担について</li> <li>7. 県民児協の監事・顧問について</li> </ul> <p>■報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1. 令和元年度県民児協事業予定について</li> <li>2. 令和元年度県民児協事業の執行状況について</li> <li>3. (公財)北海道民生委員児童委員連盟からの台風19号にかかる支援金について</li> <li>4. 外部委員会の委員選出について</li> </ul>



③ 理事会 6回(うち1回は書面審議)

開催期日	議 題
1. 6. 10	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 平成 30 年度事業報告並びに収入支出決算報告（案）について</li> <li>2. 令和元年度収入支出補正予算（案）について</li> <li>3. 『神奈川県民児協版児童委員・主任児童委員活動の手引き』について</li> <li>4. 民生委員児童委員活動PR事業について</li> <li>5. 地域版・神奈川県版「民生委員児童委員活動強化方策」について</li> <li>6. 市町村会長研修会（案）について</li> <li>7. 児童相談所所長と常任理事との連絡調整会議（案）について</li> <li>8. 退任記念品について</li> </ol> <p>■報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 県民児協事務局体制の変更について</li> <li>2. 県民児協の年間予定について</li> <li>3. 第1回総会ならびに地区会長研修会の役割分担について</li> <li>4. 民生委員児童委員活動推進事業について</li> <li>5. 全国民生委員児童委員大会における優良民児協の推薦について</li> <li>6. 全国民生委員児童委員大会について</li> <li>7. 関東ブロック民生委員児童委員活動研究協議会について</li> <li>8. 平成 30 年 7 月豪雨災害被災地への民生委員・児童委員支援募金のお礼について</li> <li>9. 『福祉タイムズ』5面執筆協力について</li> <li>10. (福)神奈川県社協 民生委員児童委員部会について</li> <li>11. (福)神奈川県社協 権利擁護推進部「エンディングサポートに関するニーズ調査」について</li> <li>12. 各種外部委員会の報告</li> </ol>
1. 9. 27 於：箱 根路開 雲	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 一斉改選に伴う準備について             <ol style="list-style-type: none"> <li>① 県民児協役員選任の手順について</li> <li>② 臨時総会の役割分担・地区民児協会会長研修会（案）について</li> <li>③ 次期広報委員・通信員について</li> </ol> </li> <li>2. 全国民生委員児童委員大会の参加にかかる往路旅費について</li> <li>3. 民生委員児童委員活動PR事業について</li> <li>4. 新任民生委員児童委員研修事例報告者等の協力について</li> </ol> <p>■報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 会費の納入について</li> <li>2. 県民児協事業の予定ならびに進捗状況について</li> <li>3. 児童相談所所長と常任理事との連絡調整会議について</li> <li>4. 退任記念品について</li> <li>5. 退任にかかる引継ぎ事項について</li> <li>6. 全国1万人イメージ調査（全民児連）について</li> <li>7. 「ひきこもりの現状と支援に関する調査」の結果について</li> <li>8. 各種外部委員会の報告</li> </ol>

<p>1. 11. 18 於：ホテル横浜キャメロットジャパン</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地域版・神奈川県版「民生委員児童委員活動強化方策」について</li> <li>2. 令和2年度各種助成事業について</li> <li>3. 民生委員児童委員 PR 事業について</li> <li>4. 県行政と県民児協常任理事との懇談会について</li> <li>5. 令和元年度事業の進捗状況ならびに今期の振り返り</li> <li>6. 第4、5回常任理事会の日程について</li> </ol> <p>■報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 県民児協事業の予定について</li> <li>2. 台風19号による対応について</li> <li>3. 役員慶弔収支報告書（案）について</li> <li>4. 各種外部委員会の報告</li> </ol>
<p>1. 12. 20</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 神奈川県民児協について</li> <li>2. 神奈川県民児協役員の選任について <ol style="list-style-type: none"> <li>① 常任理事候補者について</li> <li>② 正副会長候補者について</li> <li>③ 監事選任の市町村民児協について</li> </ol> </li> <li>3. 臨時総会ならびに第2回地区民児協会長研修会について</li> <li>4. 1月以降の神奈川県民児協の予定について</li> <li>5. 地域版・神奈川県版「民生委員児童委員活動強化方策」について</li> </ol> <p>■報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 岡山県民児協からの台風19号の見舞金について</li> </ol>
<p>2. 1. 31 於：ホテルプラム</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 県民児協の顧問について</li> <li>2. 台風第15号、19号被災地への民生委員・児童委員支援募金の配分について</li> <li>3. 第2回総会の役割分担について</li> <li>4. 第3回地区民児協会長研修会について</li> <li>5. 全国大会・研修会等の派遣について</li> <li>6. 役員慶弔について</li> <li>7. 各種外部委員会の委員委嘱について</li> <li>8. 今後の県民児協の方向性について</li> </ol> <p>■報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 県民児協事業の予定について</li> </ol>
<p>新型コロナウイルスの影響で書面審議</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 令和2年度県民児協事業計画ならびに収支予算について（案）</li> <li>2. 県民児協の監事について</li> <li>3. 総合企画委員会の委員選出について</li> </ol> <p>■報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に伴う各種事業の対応について</li> <li>2. 令和元年度県民児協事業予定について</li> <li>3. 令和元年度県民児協事業の執行状況について</li> <li>4. 令和元年度民生委員児童委員活動推進事業の審査について</li> <li>5. 令和2年度県民児協役員会・総会の年間予定について</li> <li>6. 令和2年度第1回総会の役割分担について</li> </ol>

	7. (公財)北海道民生委員児童委員連盟からの台風 19 号にかかる支援金について 8. 外部委員会の委員選出について 9. 外部委員会の報告
--	---

④ 総会 3回 (うち1回は書面審議)

開催期日	議 題
1. 6. 28	1. 平成 30 年度事業報告ならびに収入支出決算報告 (案) について 2. 令和元年度収入支出補正予算 (案) について ■報告事項 1. 県民児協キャラクターの名前について
1. 12. 20 (臨時)	1. 正副会長・常任理事の選任について 2. 監事選任市町村民児協について
新 型 コ ロ ナ ウ イ ル ス の 影 響 で 書 面 審 議	1. 監事の選任について 2. 令和 2 年度県民児協事業計画並びに収支予算(案)について

⑤ 監事会 1回

開催期日	議 題
1. 5. 30	1. 役員・職員紹介 2. 事業報告・決算報告 (案) 説明 3. 質疑応答 4. 講評

(2) 企画調整機能の強化

事業の企画や事業を円滑にすすめるために各種会議を開催した。

① 広報委員会 4回 経費：171,101円

開催期日	議 題
1. 5. 31	1. 『県民児協だより第 138 号』の紙面校正について 2. 『県民児協だより第 139 号』の紙面企画について 3. 『県民児協だより第 139 号』挟み込みについて
1. 8. 30	1. 『県民児協だより第 139 号』の紙面校正について 2. 『県民児協だより第 140 号』の紙面企画について
1. 11. 22	1. 『県民児協だより第 140 号』の紙面校正について 2. 『県民児協だより第 141 号』の紙面企画について
2. 2. 18	1. 『県民児協だより』と広報委員について 2. 正副委員長の選出について

3. 『県民児協だより』第 141 号紙面校正について 4. 令和 2 年度『県民児協だより』紙面企画について 5. 『県民児協だより』第 142 号紙面企画について 6. 令和元年度通信員連絡会について
---

広報委員（平成 28 年 12 月 1 日から令和元年 11 月 30 日まで） ◎委員長 ○副委員長

- ◎伊藤 寧彦（綾瀬市民生委員児童委員）
- 田村 正一（秦野市民生委員児童委員）
- 宇田川 敏枝（三浦市民生委員児童委員）
- 大沢 みき（厚木市主任児童委員）
- 金子 明（寒川町民生委員児童委員）
- 大原 すずか（中井町民生委員児童委員）
- 邊見 千恵（湯河原町主任児童委員）

広報委員（令和元年 12 月 1 日から令和 4 年 11 月 30 日まで） ◎委員長 ○副委員長

- ◎根本 智（横須賀市民生委員児童委員）
- 高田 陽子（茅ヶ崎市民生委員児童委員）
- 倉橋 郁子（海老名市民生委員児童委員）
- 西村恵美子（南足柄市主任児童委員）
- 八木下修治（愛川町民生委員児童委員）
- 佐野千代子（大磯町主任児童委員）
- 若林 宏光（箱根町民生委員児童委員）

## ② 通信員連絡会

※新型コロナウイルスの影響で中止

通信員（平成 28 年 12 月 1 日から令和元年 11 月 30 日まで）

市町村名	通信員名	市町村名	通信員名	市町村名	通信員名
横須賀市	田 京 進	大 和 市	仲戸川 満 男	大 磯 町	佐藤 茂樹 藤田 晋也
平塚市	天羽 輝彦	伊勢原市	足立 武	二宮町	井上 鈴子
鎌倉市	角田 孝子	海老名市	倉橋 郁子	中井町	山口 貴美江
藤沢市	竹内 規之	座間市	稲垣 文野	大井町	香川 五月
小田原市	橋本 尚信	南足柄市	高木 早苗	松田町	吉崎 なつき
茅ヶ崎市	中尾 圭子	綾瀬市	西田 博行	山北町	山崎 みさゑ
逗子市	小林 明美	愛川町	大野 次郎	開成町	碓井 尚子
三浦市	大森 美城雄	清川村	橋爪 公子	箱根町	芝 京子
秦野市	田村 正一	葉山町	市川 恵	真鶴町	佐藤 又左衛門
厚木市	小澤 彰	寒川町	新井 泰春	湯河原町	横井 勝己

通信員（令和元年12月1日から令和4年11月30日まで）

市町村名	通信員名	市町村名	通信員名	市町村名	通信員名
横須賀市	山岸 一男	大和市	倉林 夏子	大磯町	庄司 幸夫
平塚市	井上 勝博	伊勢原市	青柳 嘉男	二宮町	山影 由美子
鎌倉市	川田 順一	海老名市	佐久間 ひさみ	中井町	早田 恵美子
藤沢市	阿部川 扶美子	座間市	清水 春男	大井町	菅沼 玲子
小田原市	石塚 ミドリ	南足柄市	久積 瑠美子	松田町	山田 敏子
茅ヶ崎市	中尾 圭子	綾瀬市	中嶋 利宏	山北町	細谷 榮一
逗子市	松岡 蓉子	愛川町	洞山 巖	開成町	大野 富枝
三浦市	大森 美城雄	清川村	橋爪 公子	箱根町	芝 京子
秦野市	廣川 士朗	葉山町	藤本 茂夫	真鶴町	青木 和美
厚木市	高田 幸夫	寒川町	佐和橋 みどり	湯河原町	横井 勝己

(3) 市町村民児協事務局との連絡調整

① 市町村民児協事務担当者会議 2回 経費：10,769円

開催期日	議 題
1.5.28	<p>1. 神奈川県民児協について</p> <p>(1) 神奈川県民児協について</p> <p>(2) 令和元（平成31）年度神奈川県民児協事業計画について</p> <p>(3) 年間予定について</p> <p>(4) 民生委員・児童委員を対象とする助成事業について</p> <p>① 地域福祉活動促進費について</p> <p>② ブロック別活動について</p> <p>③ 民生委員児童委員活動推進事業助成について</p> <p>④ 民生委員児童委員活動に伴う保険加入促進助成金について</p> <p>⑤ 全国指定民生委員児童委員協議会について</p> <p>⑥ （福）神奈川県社協 民生委員児童委員部会による助成金について</p> <p>⑦ その他</p> <p>民生委員・児童委員活動保険について</p> <p>2. 民児協関連書類について</p> <p>(1) 活動記録について</p> <p>(2) 個別援助票について</p> <p>(3) 調査事務について</p> <p>(4) 互助事業について</p>
1.7.24	<p>1. 一斉改選に伴う事務スケジュールについて</p> <p>2. 地域版「民生委員児童委員活動強化方策」について</p> <p>3. 情報交換</p> <p>(1) 災害に備える民生委員児童委員活動について</p>

② 市町村民児協事務局向けの情報配信

各市町村民児協事務局へ、研修や会議の日程などの事務連絡を定期的に電子メールにより配信し、業務の円滑な推進を図った。

(4) 関係機関・団体との連絡調整

① 県行政と常任理事との懇談会 1回 経費：141,240円

本会常任理事と民生委員・児童委員の業務に関係が深い県地域福祉課・子ども家庭課との懇談会を開催し、民生委員・児童委員活動にかかわる神奈川県での取り組みと課題等を報告するとともに、協議題についての意見交換を行った。

開催期日	議 題
2.1.31 於：ホテルプラム	1. 開会 あいさつ：神奈川県民生委員児童委員協議会会長 2. 情報交換、意見交換 3. 閉会 あいさつ：神奈川県民生委員児童委員協議会副会長

② 児童相談所所長と常任理事との連絡調整会議

※台風15号の影響で中止

(5) 会員慶弔事業の実施

① 県民児協互助事業 経費：1,140,000円(給付金)

会員及び配偶者に対して弔慰または見舞金の給付を行った。

区分	種別	件数(件)	金額(円)	退任記念品
死亡弔慰	公務死亡	—	—	—
	一般死亡	8	160,000	8
	配偶者死亡	16	160,000	—
傷病見舞	公務傷害※	8	80,000	—
	公務疾病	—	—	—
	一般傷病	74	740,000	—
出産祝金	会員祝金	—	—	—
災害見舞	災害	—	—	—
退任慰労	退任慰労	1,528	—	1,528
合 計		1,634	1,140,000	1,536

※歩道で地域住民の相談に応じるため体の向きを変えたところ転倒 等

② 全国互助事業 経費：1,474,000円(給付金)

全国民生委員互助運営要綱により、それぞれ給付を行った。

区分	種別	件数(件)	金額(円)
死亡弔慰	公務死亡	—	—

	一般死亡	8	240,000
	配偶者死亡	16	240,000
傷病見舞	公務傷害※	8	280,000
	公務疾病	—	—
	一般傷病	74	714,000
災害見舞	災害	—	—
退任慰労	退任慰労	1,528	0
合計		1,634	1,474,000

※歩道で地域住民の相談に応じるため体の向きを変えたところ転倒 等

[全国・県 合計給付状況内訳]

市町村名	総件数 ※1				市町村名	総件数 ※1			
	給付金		退任 ※2 記念品	市町村名		給付金		退任 ※2 記念品	
	金額(円)	件数				金額(円)	件数		
横須賀市	184	398,000	15	170	綾瀬市	54	60,000	1	53
平塚市	134	178,000	9	125	愛川町	27	20,000	1	26
鎌倉市	83	205,000	10	73	清川村	1	0	0	1
藤沢市	159	417,000	16	144	葉山町	24	40,000	2	22
小田原市	121	83,000	4	117	寒川町	17	0	0	17
茅ヶ崎市	129	306,000	12	118	大磯町	28	25,000	1	27
逗子市	13	45,000	2	11	二宮町	18	0	0	18
三浦市	37	0	0	37	中井町	5	0	0	5
秦野市	97	133,000	5	93	大井町	11	0	0	11
厚木市	109	135,000	5	105	松田町	16	90,000	3	14
大和市	96	176,000	7	90	山北町	20	0	0	20
伊勢原市	51	85,000	4	47	開成町	21	0	0	21
海老名市	68	133,000	5	64	箱根町	10	0	0	10
座間市	51	85,000	4	47	真鶴町	7	0	0	7
南足柄市	27	0	0	27	湯河原町	16	0	0	16
						1,634	2,614,000	106	1,536

※1 一般死亡の方については、給付金と退任記念品をお渡ししています。そのため、総件数は給付金及び退任記念品贈呈の対象者の実人数であり、給付金件数と退任記念品件数の合計ではありません。

※2 退任記念品は、公務死亡・一般死亡・退任慰労の方にお渡ししています。

### ③ 全国共励事業の実施と協力

本会が、全社協へ民生委員互助共励事業会費 8,569,000 円を納入し、全社協から 9,287,900 円の助成があった。本会では、全国共励事業の一環として全国指定民生委員児童委員協議会への助成を行い、また、地方事務費を本会の全国互助共励事業取扱に伴う事務費に充当した。

<助成金の内訳>

(単位：円)

種別	金額
互助事業	7,403,000 円

共 励 事 業	531,900 円
地 方 事 務 費	1,353,000 円
合 計	9,287,900 円

このほか、全社協が共励事業の一環として発行した『民生委員・児童委員のひろば』等資料の配布を受けた。

## 2. 神奈川県民児協設立 50 周年に向けた取り組み

50 周年記念シンポジウムについて企画・検討のうえ実施したほか、総会にて県民児協キャラクター発表を行った。

神奈川県民児協設立 50 周年記念シンポジウム（令和元年（2019 年）度第 1 回 地区会長研修会）

開催期日	内 容
1. 6. 28 （地区民児協会 会長・市町村 民児協事務局 職員 167 名） 於：神奈川県 社会福祉会館	「先達者とともに民生委員・児童委員のこれからを考える～故きを温ねて新しきを知る～」 ■記念シンポジウム シンポジスト：鈴木 立也（県民児協顧問） 小松 輝男（元県民児協会長） 金田 和子（元県民児協副会長） コーディネーター：豊田 宗裕（聖徳大学 社会福祉学科 教授） ■アトラクション ～私たちの委員活動を次の世代へつなげよう<写真版タイムカプセル>～

## 3. 個別支援を基本とした民生委員・児童委員活動の確立、地区民児協活動の強化

民生委員・児童委員活動の組織的基盤であり、拠点である地区民児協の充実強化を図るため、指定地区を中心に支援を行った。

### (1) 地域福祉活動促進費の交付 経費：9,831,500 円

民生委員児童委員活動の充実を図るとともに、市町村民児協の自主的運営と組織整備を推進する事業並びに具体的福祉活動に対してその経費の一部として助成金を交付し、地域福祉の推進に努めた。

<交付金総額> 9,831,500 円

#### ① 地域福祉活動促進費使途内容

市町村名	内 容
横須賀市	【研修事業】 ○ 役員情報交換会 役員研修会 2 回、役員情報交換会 1 回



	<p>①報告「全国互助共励事業「指定民児協」実践報告」報告者：高橋昌（浦賀第1地区民児協会会長）講演「児童相談所の機能と役割、児童委員・主任児童委員との連携について」講師：府川健太郎（市児童相談所 里親・家族支援担当 主任）</p> <p>②講演「データで見る地域の姿と地域福祉推進の方向性」講師：永妻和子（市副市長）</p> <p>○ 民生委員・児童委員初任者研修会</p> <p>①「民生委員児童委員活動における心がまえ」講師：佐野美智子（市民児協会会長）</p> <p>②「横須賀市の福祉施策と民生委員児童委員活動」講師：杉山賢一（市福祉部福祉総務課地域福祉係長）</p> <p>③「横須賀市の高齢者福祉施策」講師：清家悠里（市福祉部高齢福祉課福祉サービス係）、小林幸男（市福祉部高齢福祉課総合相談係長）</p> <p>④「障害者手帳と障害福祉サービスについて」講師：大内泰之（市福祉部障害福祉課障害サービス事業推進係長）</p> <p>⑤「横須賀市の児童福祉施策」講師：小林幸恵（市児童相談所副所長）、佐藤晴子（中央健康福祉センター館長）</p> <p>⑥「社協と民生委員児童委員」講師：稲葉抄子（市社協地域福祉課長）</p> <p>⑦「活動記録・個別援助表・調査事務の記入方法と考え方」講師：稲葉抄子（市社協地域福祉課長）</p> <p>○ 民生委員児童委員・社会福祉推進委員合同研修会（市社協共催、市独自の社会福祉推進員との合同研修）</p> <p>講演「愉しく福祉活動をつづけるコツ」講師：岸正晴（横須賀市レクリエーション協会）</p> <p>○ 研修資料購入（「新任民生委員活動の手引き」購入・配布）</p> <p><b>【住民福祉を实践するうえで必要な事業】</b></p> <p>○ PRカード、リーフレット、パンフレット購入等広報啓発</p> <p><b>【実践事業】</b></p> <p>○ ふれあいフェスティバルふれあいミニサロン運営</p> <p>○ 民生委員児童委員大会（第1部式典、第2部講演）</p> <p>講演「地域福祉の推進と民生委員児童委員の役割～連携・共同の主体として活動する」講師：小林雅彦（国際医療福祉大学教授）</p> <p><b>【研究事業・実践事業】</b></p> <p>○ 研究広報部会（会議12回、研修1回、よこすか民児協会報発行2回、部会反省会1回）</p> <p>在宅福祉部会（研修2回、情報交換会1回）</p> <p>児童福祉部会（役員会2回、全体会2回、子育てカレンダー発行2回、編集等作業1回）</p>
平塚市	<p><b>【研修事業】</b></p> <p>○ 市民児協総会・研修会</p> <p>○ 市民児協期別研修会</p> <p><b>【実践事業、研修事業】</b></p> <p>○ 企画部会：会議及びグループワーク、意見交換</p> <p>○ 広報部会：会議3回、平塚民児会報（31号）及びダイジェスト版「ひらつか民生だより」を発行。5月の「民生委員の日」関連行事としてパネル展を市役所多目的ホールで実施</p> <p>○ 高齢者部会：まとめの3年目として「次に向かって」を合言葉にいろいろな視点で「これからの民生委員活動を考えてみよう」と活動を行った。研修会①「中高年の引きこ</p>

	<p>もり 8050 問題とは」講師：井上部会長、②「人生フルーツ」映画鑑賞（公開講座）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 心身障がい者部会：3 年任期の最終年にふさわしい、専門的な内容の研修を行った。研修会       <ul style="list-style-type: none"> <li>①「高次脳機能障害について」講師：東川悦子、②「平塚市自立支援協議会（身障分科会）について」講師：遠藤年彦（市社協）、「視覚障害者の話」講師：前田美智子（市視覚障害者協会 会長）</li> </ul> </li> <li>○ 児童部会：児童に関わる諸問題を専門の方々より講義を受ける、または施設訪問見学を行う等、勉強した成果を各地区の定例会で発表して共有することを目的としている。会議 1 回、施設見学 1 回（平塚児童相談所）</li> <li>○ 主任児童委員連絡会：「子育てサロン」に焦点を当て、市立保育園及び市社協との情報交換会を実施。12 月の改選後は児童相談所への相談・支援活動を積極的に推進するため、グループ（地域別）に分かれて、児童相談所の職員と話し合いをした。また、新任主任児童委員を対象とし、平塚児童相談所の施設見学を行った。研修会①「子育てサロンに役立つ知識について」講師：市保育課保育士、②「子育てサロン補助金に関する書類の書き方等について」講師：能條、皆川（市社協）</li> <li>○ 理事会、正副会長会議、常任理事会</li> </ul> <p>【調査事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各種実態調査</li> </ul> <p>【住民福祉を实践していくうえで必要な経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 広報活動</li> </ul>
鎌倉市	<p>【研修事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全体研修「民生委員児童委員のこころとカラダのケア」～「私」と「仲間」とその先の存在を大切にするために～ 講師：山中達也（社会福祉士・精神保健福祉士/山梨県立大学准教授）</li> </ul> <p>【地域福祉活動推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域福祉活動の充実強化を図るため経費の一部を交付した。</li> </ul> <p>【実践事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 研究部会における研究活動に対する助成：3つの研究部会による活動の助成を図った。</li> <li>(1)「提案部会」会議 4 回：【提案 1 号】「民生委員とケアマネジャーとの連携」について連絡シートを作成し、活用を検討した。【提案 2 号】「一人暮らし高齢者登録台帳の見直し」を提案し、市の一人暮らし高齢者登録台帳が改訂（令和 2 年 5 月～）されることにつながった。</li> <li>(2)「広報部会」会議 3 回：鎌倉地下道ギャラリーにパネル展示し、市民に周知した。「市社協だより」へ民生委員児童委員の記事を掲載（年 3 回）、民生委員児童委員掲載情報について事務局と協議し、活動がより伝わるように内容を更新した。</li> <li>(3)「福祉部会」高齢者施設での福祉活動を実施（演奏に合わせて歌と踊りを披露）練習 2 回、施設訪問 2 回。各地区での福祉活動の内容とりまとめ高齢者福祉実践活動報告を作成し、全民生委員児童委員に配布した。</li> </ul>
藤沢市	<p>【研修事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 高齢者部会研修会「地域との垣根を取り払った介護、支えあいの地域づくりについて」講師：加藤忠相（(株)あおいけあ 代表取締役）</li> <li>○ 障がい者部会研修会「ディスクレシアについて」講師：藤堂英子（認定 NPO 法人エッジ）</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 低所得者部会研修会「CSW の役割について」 講師:市社協/地域包括ケアシステム推進室</li> <li>○ 主任児童委員・児童福祉対策部会合同研修会「子ども健康課の業務内容について～地域子育て支援とのつながり～」 講師:子ども健康課 保健師</li> <li>○ 児童部会研修会 ※台風により中止</li> </ul> <p><b>【交流・広報活動】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 活動報告(冊子)の作成(全16地区) ○ 交換民児協の実施</li> <li>○ 16地区民児協の活動、写真等によるパネル展示 ○ 市内3駅街頭PRキャンペーン</li> <li>○ 「市民児協だより第71号」発行(570部)</li> </ul> <p><b>【地区別活動】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 子育てサロン運営および協力 ○ 子育て応援メッセ ○ 福祉バザーの開催</li> <li>○ 公民館まつりへの出店 ○ ふれあい給食会の開催 ○ 防災活動への協力</li> </ul>
小田原市	<p><b>【研修事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全体研修会:「地域で命を支える～健康・絆・地域包括ケアについて～」講師:鎌田實(医師・作家)</li> <li>○ ブロック別研修会:市内26地区を6ブロックに分け、地区ごとにテーマを決めて研修を行った。民生委員児童委員としての資質の向上を図るとともに、近隣地区の民生委員児童委員の連携強化を図った。</li> </ul> <p style="padding-left: 2em;">※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、2ブロックは中止</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 理事視察研修会:座間市民児協と交流会を行い、民生委員・児童委員活動の引継ぎについて意見交換を行った。</li> <li>○ 各種団体が主催する研修会への参加(県民児協、県・市社協、県児童相談所等)</li> </ul> <p><b>【共励事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 民生委員児童委員大会:民生委員児童委員の職務を再確認し、活動の更なる推進を祈念するとともに、協議会の事業計画等について情報共有を図った。</li> </ul> <p><b>【部会活動事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 高齢者部会、障害者部会、児童相談部会、心配ごと相談部会の各部会を開催し、分野ごとに意見や情報の交換、研修等を行った。また、地域の各種事業への協力を行った。</li> </ul>
茅ヶ崎市	<p><b>【住民福祉を実践していくうえで必要な経費】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地区研修会、勉強会、情報交換会 研修「ドキュメンタリー映画『ちづる』上映会～妹が僕に映画をつくらせた～」赤崎正和監督のハートフルトーク、「背中をそっと押せる役割～より良い相談援助活動のあり方を考えよう～」講師:泉恵造(合同会社泉恵造研修企画工房)ほか</li> <li>○ 施設研修会(ケアヴィレッジ湘南茅ヶ崎、あすなる教室、県聴覚障害福祉センター)</li> </ul> <p><b>【実践事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 高齢福祉部会:代表者会議6回、研修会・講演会3回 代表者研修「定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービスについて」講師:熊本所長(リフシア浜之郷、講演会「超高齢社会をいつまでも生き生き」講師:木村清一(東京大学高齢社会総合研究機構)、研修会「DVD『ユマニチュードって何だろう 入門編』上映」ユマニチュード:認知症ケアの手法 ※NHK厚生福祉文化事業団の制作</li> <li>○ 障害福祉部会:代表者会議7回、研修会・講演会3回、障害者運動会協力 他 講演会「人生漫談～笑いは健康と幸せのかけ橋」講師:人星亭喜楽駄朗</li> </ul>

	<p>○ 児童福祉部会：代表者会議 7 回、研修会・講演会 3 回、施設見学会 1 回 他 代表者施設研修（社会福祉法人日本水上学園）、家庭児童相談室との情報交換「茅ヶ崎市の児童の現状について」、勉強会「子育て事業・事例発表」</p> <p>○ 主任児童委員連絡会：連絡会 11 回（研修会・講演会 5 回含む） 他 「こんにちは赤ちゃん訪問」従事者研修 2 回、研修「子どもデイサービスと日中一時支援について」講師：増田究美（子どもデイサービス ひかりのはな）、矢澤園子（児童発達支援センター うーたん）、「セクシャルマイノリティの支援のために」講師：星野慎二（特定非営利活動法人 SHIP 代表）、「不登校・引きこもりからの自立（回復）から経験者が抱えて来た本当の気持ち～」講師：柳川涼司（NPO 法人ぜんしん 理事長）、当事者 2 名</p>
逗子市	<p><b>【部会活動】</b></p> <p>○ 高齢者福祉部会：会議 3 回（うち施設視察 1 回、研修 2 回） 視察研修（カメラ桜ヶ丘、逗子杜の郷）、他団体への協力・支援（せせらぎ（傾聴支援）、せせらぎ祭り（逗子ホームせせらぎ主催）、高齢者センター高齢者の集い）</p> <p>○ 障がい者福祉部会：会議 2 回（うち施設視察 1 回） 視察研修（日本理化学工業川崎工場、研修「福祉避難所運営シミュレーションゲーム」、他団体への協力（湘南の風もやい、みんなでプロジェクト）</p> <p>○ 児童福祉部会：会議 3 回（うち施設視察 1 回） 視察研修（エリザベスサンダースホーム）、研修「市内小中学校の状況・支援教育について」講師：内田担当課長（教育部学校教育課）、「逗子の子育てについて」講師：中村担当課長（教育部子育て支援課）、他団体への協力（親子広場、4 か月健診・離乳食教室（市教育部子育て進化所管）</p> <p>○ 主任児童委員連絡会：会議 12 回 主任児童委員・子ども相談員・鎌倉三浦地域児童相談所職員との情報交換会、三浦市・葉山町主任児童委員との交流会、えがおサポート、神奈川県鎌倉三浦地域児童相談所管内主任児童委員研修会、他団体への協力（4 か月健診・3 歳児健診（市教育部子育て支援課所管）、あつまれニューフェイス（市子育て支援センター主催）、保育園児との交流、学校・保育園関係（評議員、行事参加等）、福祉教育、ずし子ども 0 円食堂等</p>
三浦市	<p><b>【研修事業】</b></p> <p>○ 民児協活動の円滑な推進と、民生委員・児童委員の資質の向上を図るため、研修会を開催するとともに、県民児協等が開催する研修会に参加した。</p> <p><b>【住民福祉を推進していくうえで必要な経費】</b></p> <p>○ 地区民児協並びに主任児童委員の活動に対し助成を行い、活動の活性化を図った。 地区民児協の主な活動：地域における見守り活動、小中学校と連携した児童・生徒の見守り、行政及び社協と連携した福祉サービス利用援助 主任児童委員の主な活動：子育てサロン「ほっと＊ハート」の開催 「赤ちゃん訪問」による地域の子育て家庭の把握</p>
秦野市	<p><b>【研修事業】</b></p> <p>○ 全体研修（必修）：「笑ってこころもからだもリフレッシュ」 講師：キニンメント早苗（日本笑いヨガ協会）</p> <p>○ 全体研修（希望制）：①「はだの男女共同社会フォーラム 2019」②「人権・男女共同参画</p>

	<p>をを考える会 2019」③「第 36 回地域の子どもの幸せを考える秦野市民会議～心豊かな子どもたちを育てるために～」</p> <p>○ 新任民生委員児童委員研修：「民生委員・児童委員の概要、個別支援活動、相談窓口等について」</p> <p><b>【調査事業】</b></p> <p>○ 全民児連作成（H31 年 3 月）の第 3 版「災害に備える民生委員・児童委員活動に関する指針」改定に基づき、災害時民生委員児童委員活動マニュアルを改定案作成。災害への備えは地域全体の課題であり、平時の取り組みが最も重要であることを意識し、日ごろの地域の見守り・支援活動に取り組んだ。</p> <p>○ あんしんカードをひとり暮らし高齢者等へ配布した。</p> <p>○ こんにちは赤ちゃん訪問事業（市主催事業）に協力した。</p> <p><b>【住民福祉を实践するうえで必要な活動】</b></p> <p>○ 広報活動：①市内 4 駅での PR 活動、②市役所、各地区公民館等でのパネル展の実施、③たばこ祭千人パレード参加、④市民の日への参加、⑤ふれあいサロンほっとコーナー実施（月 2 回）、⑥広報紙「まなざし」（年 3 回発行）、⑦11月の児童虐待防止推進月間にオレンジリボンツリーを設置、⑧保健福祉センターフェスティバルへの参加</p> <p><b>【実践事業】</b></p> <p>○ 地域援護部会：会議 5 回、勉強会 1 回「避難準備情報の種類等」講師：防災課職員、視察 1 回「気象庁」</p> <p>○ 高齢部会：会議 4 回、勉強会 2 回、①「高齢者の口腔ケアの方法とポイント①」講師：高齢介護課歯科衛生士、②「冷凍食品、コンビニ弁当を使った高齢者用アレンジレシピ②」講師：高齢介護課歯科衛生士、視察 1 回「ディーフェスタ相模原」</p> <p>○ 障害部会：会議 3 回、勉強会 2 回、①「自殺予防対策①」講師：平塚保健福祉事務所職員、②「ライフステージに応じた障害福祉サービス②」講師：障害福祉課職員、視察 1 回「日本盲導犬総合センター富士ハーネス」</p> <p>○ 児童部会：会議 5 回、勉強会 1 回「子ども自立生活支援センターきらり及びしんわルネッサンス見学他」、主任児童委員部との合同研修 1 回「映画（隣る人自主上映）視察 1 回「愛光女子学園」</p> <p>○ 主任児童委員部：会議 6 回、児童部会との合同研修 1 回、視察 1 回視察（ドルカスベビーホーム及び白百合ベビーホーム）</p> <p>○ 広報部：会議 13 回、民児協だより 3 回発行（4・8・12 月）</p>
厚木市	<p><b>【会議・研修事業】</b></p> <p>○ 会議：①地区会長会：会議・情報交換 12 回、②企画委員会：2 回 一斉改選に伴う引継書の内容について ほか</p> <p>○ 全員研修会：全員を対象とした民生委員・児童委員の資質向上を図る研修</p> <p>○ 地区研修（7 地区 計 8 回）：各地区の研修支援</p> <p><b>【部会活動】</b></p> <p>○ 施設ふれあい部会：会議・情報交換 2 回、講義・研修 2 回</p> <p>○ 児童部会：会議・情報交換 2 回、講義・研修 3 回</p> <p>○ 高齢部会：会議・情報交換 3 回、講義・研修 1 回</p> <p><b>【調査活動事業】</b></p>

	<p>○ 各地区民児協（15 地区）ごとに以下について実施。</p> <p>①ボランティア活動、福祉のまちづくり運動の推進(広報・啓発活動)</p> <p>②福祉活動を推進するボランティアの発掘・育成</p> <p>③実際に活動しているボランティアを把握し、その相談相手となり、市・市社協等との連絡・調整活動</p> <p>④地域包括及び地区地域福祉推進委員会並びに地域ボランティアと連携し、在宅高齢者等の把握と支援活動。</p>
大和市	<p><b>【調査事業】</b></p> <p>○ 生活福祉部会：生活福祉資金の適切な運営を図るために市社協と協力し、研修やグループワーク等を通じて制度の理解促進に努めた（計4回実施）。</p> <p>○ 児童委員部会：関係機関等との情報交換会や施設見学等を行い、行政との連携強化を図った（計7回実施）。</p> <p>○ 広報部会：委員相互理解を深めるため、民生委員だより「しらかし」を年2回発刊（計7回実施）</p> <p><b>【実践事業・住民福祉を推進していくうえで必要な事業】</b></p> <p>○ 地区民児協活動費の交付</p> <p>①高齢者世帯に対する安否確認を目的とした訪問活動、②子育てサロン、高齢者サロン等の企画運営、③低所得者に対する相談援助、④地区民児協の視察研修会、⑤地域住民に対する支援活動</p>
伊勢原市	<p><b>【地域福祉活動促進事業】</b></p> <p>○ 子育て支援事業保育クラブ（保育クラブ運営・地域子育てグループ支援）</p> <p>○ 地域施設支援事業（高齢者施設等の支援）</p> <p>○ 子育て支援地域交流会（小学校・中学校・保育園における交流会実施）</p> <p>○ 高齢者声かけ事業</p> <p>○ 心身障害児声かけ事業</p> <p>○ 地区民児協研修会</p>
海老名市	<p><b>【研修会】</b></p> <p>○ テーマ：「海老名市の事例を基に解決するポイント」 講師：泉恵造（合同会社 泉恵造研修企画工房）</p> <p>○ テーマ：「良い人間関係を築くために」 講師：相浦やよい（NPO 法人日本エニアグラム学会 認定アドバイザー）</p> <p><b>【広報誌発行】</b></p> <p>○ 広報「ふれあい」を2回発行（第86号、第87号） 市内自治会加入世帯及び、民生委員把握家庭、公共施設等に配布</p>
座間市	<p><b>【研修事業】</b></p> <p>○ 全体研修2回</p> <p><b>【実践事業・委員会活動】</b></p> <p>○ 主任児童委員会：会議、研修、情報交換会等6回、子育て広場「よちよち」月2回開催、市健康づくり課の育児相談に参加・協力、リーフレットの仕分け・配布</p> <p>○ 地域福祉推進委員会：会議4回</p> <p>○ 会食会委員会：会議4回、「ふれあい会食会」各地区1～2回開催</p>

	<p><b>【住民福祉を推進していくうえで必要な活動】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 市民児協機関紙「こぼと第33号」発行</li> <li>○ 市民ふるさとまつりにて「こぼと」配布、パネル展示</li> </ul>
南足柄市	<p><b>【調査・研究事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 災害時要援護者実態調査</li> <li>○ 母子・児童部会：施設見学、視察研修 主任児童委員部会：施設見学、施設視察 高齢者部会：施設視察及び情報交換会 障害者部会：施設見学及び情報交換会</li> </ul> <p><b>【研修事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 新任委員研修</li> <li>○ 中央地区障害者部会：車いす実技研修 中央地区母子・児童部会／主任児童委員部会：児童虐待対策研修 主任児童委員部会：講演会・研修会参加</li> </ul> <p><b>【実践事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 岡本地区高齢者部会：一人暮らし高齢者への暑中見舞、年賀状発送 中央地区高齢者部会：79歳以上の独居者全員へ花の鉢プレゼント 岡本母子・児童部会：地域福祉会子育てサロン協力 主任児童委員部会：新生児訪問事業</li> </ul> <p><b>【住民福祉を実践していくうえで必要な事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 健康フェスタでの出店（民生委員パンフレットの配布含む）</li> <li>○ 高齢者部会：老健草の家「縫い物、車いすの整備洗浄」 障害者部会：コスモス学園「納涼祭」「運動会」「学園祭」、足柄療護園「秋祭り」支援活動 主任児童委員部会：3ヵ月児・1歳6ヵ月児・3歳児健診時チラシ配布、子育て情報カレンダー配布事業、子育てサロン協力、なかよしフェスタの開催（民生委員パンフレット配布含む）</li> </ul>
綾瀬市	<p><b>【研修事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全体研修：問題別のテーマを設定し、専門講師による講義を実施（年3回） (1)日帰り視察研修（沼津 あしたか太陽の丘／あしたかホーム） (2)講演会「児童相談所の役割、しくみと事例紹介」 講師：田代允生（厚木児童相談所 子ども支援課 班長） (3)講演会「ひょっとしたら認知症？どう接する?!」講師：吉田勝明（医師）</li> </ul> <p><b>【研究事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 理事会の開催：民児協の運営方法、各種事業への取組等を協議・検討し、組織活動の充実を図った（月1回）。</li> <li>○ 各地区における研究・活動：地域の福祉ニーズを的確に把握し、特徴にあった独自の活動を展開した。</li> </ul> <p><b>【実践事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各委員会（主任児童委員会、研修委員会、広報委員会、活動記録集作成委員会）による専門的な特性を活かした各種関連事業を実施し、地域福祉の向上を図った。</li> </ul>
愛川町	<p><b>【地区別研修事業＜地区民児協活動＞】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 北地区・南地区それぞれで会議等を開催。要援護ケースの事例研究や活動報告などの情報交換を行った。</li> </ul>

	<p>内容：福祉施設、関係機関、福祉ボランティア団体等の視察・研修などを開催 その他勉強会、定期的な情報交換会を実施</p> <p><b>【専門別研究事業&lt;専門部会活動&gt;】</b></p> <p>○ 各部会等により、会議及び研修会などを開催し、専門知識の習得を行った。</p> <p>障がい者福祉部会：障害者作業所夕涼み参加、町施設（あいかわ工房・グループホーム）視察研修、研修会 他</p> <p>児童福祉部会：子育て支援センター講話・見学、町内外幼稚園参観、視察研修（唐池学園・ドルカスベビーホーム、七沢学園） 他</p> <p>高齢者福祉部会：ボランティア団体（2団体）との交流研修会、町内施設（老人ホーム）視察研修、ミニデイサービスに参加し交流・高齢者の実態把握（2施設）研修会 他</p> <p>主任児童委員連絡会：月1回の定例会議、小中学校行事や研修会への参加、ケース会議への参加、子育て支援センターとの情報交換、児童相談所との情報交換、町外・町内施設研修、子育てサロンの実施 他</p> <p>その他自主活動：広報・研修委員会の実施</p> <p><b>【モニター事業】</b></p> <p>○ ねたきり高齢者、認知症高齢者、ひとり暮らし高齢者などの世帯を訪問し、本人をはじめ、家族等の実態やニーズ調査及び把握を行った（5月～6月にかけて訪問調査を実施）。</p> <p><b>【地域福祉推進事業】</b></p> <p>○ 町の福祉のまちづくり推進事業（社会福祉大会）、ふれあい広場、年末助け合い運動への参加・協力及びボランティアグループとの連携に努め、地域福祉推進活動を行った。 社会福祉大会、福祉体育大会、ふれあい広場 等に参加</p>
清川村	<p><b>【訪問活動事業】</b></p> <p>○ 担当地区内の要援護者等に対する訪問活動等 高齢者の見守り（独居高齢者、高齢者のみ世帯などへの訪問活動） 訪問活動で聴取した困りごと等について地域包括支援センター等への報告</p>
葉山町	<p><b>【研修事業】</b></p> <p>○ 町内委員全員を対象とした研修 視察研修（横浜地方裁判所） 視察研修（日本聴導犬協会（長野県上伊那郡））</p>
寒川町	<p><b>【研修事業】</b></p> <p>○ 視察研修会「防災体験学習」（東京臨海広域防災公園（そなエリア東京）） ○ 全体研修会「地域共生社会の実現に向けて期待される民生委員児童委員（主任児童委員）活動を考える」講師：大溝茂</p> <p><b>【実践事業】</b></p> <p>○ 児童部会：部会5回、学校訪問（寒川小学校、旭小学校、旭ヶ丘中学校、南小学校）研修 ①「不登校の親との懇談」②「一宮小学校試食会参加」③「のびゆく子らの作品展」鑑賞、二部会研修「インクルーシブ教育推進フォーラム」講演会参加、ふれあい事業（学童小運動会応援）</p> <p>○ 高齢者部会：ケアマネジャーとの懇談会「いろいろなケースやこれからの課題について」、寒川介護者のつどいの方の話を聞く「認知症家族を抱える介護者のお話」、施設訪問（夏</p>



	<p>祭りに参加、特別養護老人ホームきくの郷)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 障がい者部会：部会 3 回、施設訪問 2 回（ひまわり教室、ライフ湘南）、施設行事参加 1 回（つくしの家 バザー販売手伝い、駐車場整理）、ネットワーク会議（「F」「茅ヶ崎保健所」との意見交換）</li> <li>○ 編集部会：部会 12 回、視察 1 回、懇親会 1 回（具志堅の家）</li> <li>○ 主任児童委員部会：部会 10 回、子育てひろば 4 か所「お母さんと赤ちゃんの遊び場提供」「保健師さんによる計測と相談」「世代間交流」、町子どもサポートネットワーク協議会、個別ケース検討会議、乳幼児部会、ブックスタート（相談と読み聞かせ）、赤ちゃん訪問、入学式参列、父親・母親教室会（すずらんコース・あじさいコース・こすもすコース・すいせんコース）お手伝い、父親・母親教室 OB 会（さざんかコース）、保育園運動会見学、2 部会研修会「インクルーシブの講演」、離乳食講習会「ごっくん期の見学」、保育園卒園式列席 父親・母親教室手伝い</li> </ul>
大磯町	<p><b>【福祉活動事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自主事業：民生委員児童委員たより発行、委員間の安否確認訓練（3 回）、パネル展（活動強化週間）</li> <li>○ 研修会：普通救命講習（1 回〔3 日間〕）、研修（1 回〔1 日間〕）</li> <li>○ 社協協力：年末たすけあい募金、募金及び配布協力</li> <li>○ 町保健福祉事業協力：乳児家庭全戸訪問事業（こんにちは赤ちゃん事業）、2 歳児全戸訪問事業（にこにこ子育て応援団）、80 歳以上高齢者宅への個別訪問、敬老祝金配布協力</li> <li>○ 各種催事参加協力：社会を明るくする運動</li> <li>○ 部会活動：高齢者部会（会議 11 回、研修等 2 回） 児童部会（会議 11 回、研修等 4 回） 障がい者部会（会議 11 回、研修等 4 回） 地域福祉部会（会議 11 回、研修等 3 回）</li> </ul>
二宮町	<p><b>【啓発活動・研修事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 研修「二宮町における虐待の現状と関係機関との連携」</li> <li>○ 町ふれあい福祉のつどい時に啓発物品の配布や掲示物より啓発活動を実施</li> </ul> <p><b>【部会活動】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 障がい者部会：町社協主催障害者福祉関係行事への参加協力（随時）、障がい福祉サービス事業所手伝い（年間）、研修会（神奈川県立子ども自立支援センター「きらり」）</li> <li>○ 高齢者部会：町社協及び町主催協議会等への参加（随時）、町内介護老人福祉施設デイサービスの手伝い（年間）、研修会（特別養護老人ホーム二宮喜楽園）</li> <li>○ 児童部会：学童保育慰問、児童福祉施設慰問、主任児童委員活動への協力（随時）、母子保健事業の乳幼児教室への支援協力（主任児童委員）（年間）、子育てサロンを訪問し、幼児の見守りや母親の育児相談を受ける（年間）、研修会（社会福祉法人心泉学園）</li> </ul>
中井町	<p><b>【研修事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 勉強会：①小田原児童相談所による勉強会および意見交換会「地域を取り巻く現状等について～児童相談所、民生委員児童委員との連携強化について」、②地域福祉コーディネーター養成講座「「8050 問題」は「ひきこもり」だけの問題なのだろうか？～ご一緒に考えたいと思います～」</li> </ul>

	<p>○ 視察研修（ねむの木学園特別支援学級視察）</p> <p><b>【調査・研究・実践事業】</b></p> <p>○ 部会活動</p> <p>    高齢・障がい福祉部会：施設訪問1回、情報誌の発行3回</p> <p>    児童福祉部会：家庭教育学級託児協力2回、「きしゃぼっぽ」見直し発行、ブックスタートへの参加協力6回、歯科検診への参加協力5回、未就学児の会各種行事に参加・協力3回)</p> <p>○ 地区活動</p> <p>    中村上地区：定例会5回、研修会1回、包括支援センターとの意見交換会1回</p> <p>    中村下地区：連絡会6回、包括支援センターと意見交換会1回</p> <p>    井ノ口地区：定例会5回、研修会1回、自治会長との連絡会議1回</p> <p>        包括支援センターとの意見交換会1回</p> <p>○ 主任児童委員活動：赤ちゃん訪問事業18回、産後ケア事業11回、会議・研修会13回、奉仕活動14回</p>
大井町	<p><b>【会議・研修】</b></p> <p>○ 県外施設視察</p> <p>○ 全体研修 「自殺予防計画について」「生活困窮相談支援『そうだんステーション』について」「生活保護について」「災害時支援者マニュアルについて」「ハザードマップについて」「手話講習会」「メンタルケアについて」「社協の制度説明」「訪問活動、相談活動の基本」「認知症サポーター養成講座」</p> <p><b>【実践活動】</b></p> <p>○ 高齢者部会、障害者部会、児童部会</p> <p>○ 町ゲートボール大会に参加（6月）</p>
松田町	<p><b>【管理運営】</b></p> <p>○ 会議：年次総会、定例会（12回）、拡大委員会（1回）、本部役員会（12回）</p> <p>○ 県民児協・県社協・その他各研修会への参加、ボランティア事故共済保険加入</p> <p><b>【各種活動】</b></p> <p>○ AED講習会、避難所運営ゲームHUG訓練や、開成町民児協との交流会</p> <p>○ 分野別専門部会（高齢者、児童、障害者）、地域部会（第1～4地域部会）</p> <p>    それぞれの分野別の共通の課題の事例検討、情報交換</p> <p>    研修会「介護保険制度について」「松田町の児童の現状について」「障害者への対応について」、支援奉仕活動</p> <p>○ 担当地域の要見守り対象者、要支援者の実情把握、調査内容の再確認をし、特に災害時、要支援対象者の対策のため、自治会等と協力し災害時支援体制の確立を図る。</p> <p>○ 担当地域の登校児童・生徒の見守り活動（新学期ごとに強化活動実施）</p> <p>○ 町福祉事業への協力：①敬老会（担当地域の対象者確認・案内状配布、受付、祝品授受、配布）②町、社協が進めている小地域福祉計画への協力</p> <p>○ 町社協事業への協力：①賛助会員勧誘及び会費徴収活動、②共同募金法人向け募金活動、③あったかフェスタ奉仕支援</p> <p>○ その他関係機関・施設への奉仕活動：①子どもの館行事への奉仕、②障害者福祉協会行事への奉仕、③県主催子どもグループ支援</p>

山北町	<p><b>【研修事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各地区部会事例検討会</li> <li>○ 各部会（児童部会、奉仕部会等）検討会：各部会における対処法等の検討会を実施</li> <li>○ 救命講習会 講師：小田原消防本部</li> <li>○ 児童福祉関連施設視察（子ども自立支援センターきらり）</li> </ul> <p><b>【調査事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 世帯調査：担当地区内の4月1日現在の独居高齢者等の把握調査を実施</li> <li>○ 避難行動要支援者支援制度登録者の把握</li> <li>○ 緊急時の連絡先調査</li> <li>○ 見守り対象者実態調査</li> <li>○ 民児協作成子育て支援ガイド「ほほえみマップ」改訂</li> </ul> <p><b>【実践事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 奉仕活動：幼稚園・保育園・こども園、小中学校の環境整備（草刈り・花壇整備）</li> <li>○ 各地域福祉協議会行事への参加</li> <li>○ 町・町社協等の行事への参加：社会福祉大会、青少年健全育成大会、敬老のつどい、キッズカーニバル 他</li> <li>○ 町社協事業への協力：心配ごと相談（月2回）</li> </ul>
開成町	<p><b>【研修事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 県民児協等主催の各種研修会へ参加した。</li> <li>○ 定例会にて事例検討会を実施した。</li> <li>○ 行政や社協・地域包括支援センター主催の研修に参加した。</li> <li>○ 近隣民児協（松田町）との交換民児協を実施。</li> <li>○ 富士市 NPO 法人ゆめ・まち・ねっとの活動内容について講義及び視察研修を実施。</li> </ul> <p><b>【実践活動】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 『ほほえみ通信』を年4回発行</li> <li>○ 社協と共催で「ふれあい交流会」を開催</li> <li>○ 小学校で「ふれあい大会（PTA 主催）」への参加協力</li> </ul>
箱根町	<p><b>【研修事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 民生委員・児童委員の資質向上と見聞を広げるため、県外研修を実施 「新潟県中越大地震の伝承・防災学習・施設見学」「小千谷市民児協会長による八歳児に民生委員としての活動状況や心得の講話」（新潟県小千谷市「おぢや震災ミュージアムそなえ館」）</li> <li>○ 町内研修は新型コロナウイルスの影響で中止</li> </ul>
真鶴町	<p><b>【研修事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 研修旅行 概要：地域福祉サービス内容の検討充実強化のため研修旅行を企画し、知識の向上と委員同士の親睦を深める</li> </ul> <p><b>【実践事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 子育て支援事業等への協力 子育てグループ活動支援（月1回）、こんにちは赤ちゃん対象宅訪問、小・中学校との交流会、お誕生日会・クリスマス会</li> </ul>

湯河原町	<p><b>【研修事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 民生委員・児童委員の知識の向上を図るため研修会を開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>①定例会時にミニ研修会を開催</li> <li>②西湘ブロック会議主催の研修会に参加 研修「児童虐待等の児童に関する課題と地域で必要とする支援について」</li> <li>③県民児協等主催の民生委員児童委員研修に参加</li> <li>④民児協主催による「子育てひろば」※台風 19 号のため中止</li> </ul> </li> </ul> <p><b>【調査事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 要援護者の把握・サービス提供者の調査 対象世帯(生活保護世帯、ひとりぐらし老人、老人夫婦世帯・在宅重度障害児者・母子世帯・父子世帯・要保護準要保護児童世帯等)の調査、訪問等</li> </ul> <p><b>【実践事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 心配ごと相談室（毎月 10 日・20 日）に協力 行政相談員、人権擁護員、法務局と協力し、3 人 1 組の当番制で住民の相談に応じた</li> <li>○ 「長寿を祝うつどい」における祝金品の配布</li> <li>○ 社協に協力し、湯河原駅前共同募金街頭運動を実施</li> <li>○ 年末慰問金の配布：要援護者等に町から慰問金個別配布に協力</li> <li>○ 福祉タクシー券の配布：在宅重度障がい者（1～3 級）に町からの個別配布に協力</li> <li>○ 子育てサロン（毎月第 2 水曜日）及びかるがも育児教室（年 3 回）への協力</li> </ul>
------	--

② 地域福祉活動促進費交付額一覧 (単位：円)

横須賀市	1,168,000	大和市	554,000	大磯町	119,000
平塚市	838,000	伊勢原市	304,500	二宮町	108,500
鎌倉市	461,000	海老名市	327,000	中井町	75,500
藤沢市	1,034,000	座間市	309,000	大井町	95,000
小田原市	761,500	南足柄市	152,500	松田町	93,500
茅ヶ崎市	652,000	綾瀬市	286,500	山北町	93,500
逗子市	189,000	愛川町	142,000	開成町	90,500
三浦市	204,000	清川村	55,000	箱根町	104,000
秦野市	531,000	葉山町	116,000	真鶴町	69,500
厚木市	615,000	寒川町	163,500	湯河原町	119,000
				合 計	9,831,500

(2) 民生委員児童委員活動推進事業の指定

① 民生委員児童委員活動推進事業 経費：199,524円

多様化する住民のニーズや地域の福祉課題にそった民生委員・児童委員活動の推進をめざし、計画された意欲ある事業を奨励・普及するため、民児協を指定し、経費を助成した。

- 助成金額合計：198,000円

地域名	事業名	助成額
山北町民児協	令和元年度山北町子育て支援ガイド「ほほえみマップ」改訂事業	158,000円
鎌倉市民児協	茅ヶ崎市民児協及び鎌倉市民児協交流会	20,000円
茅ヶ崎市民児協	茅ヶ崎市民児協及び鎌倉市民児協交流会	20,000円

## ② 指定地区民生委員児童委員協議会への助成

全国互助共励事業の一環として、民児協運営の充実と地域福祉活動の振興を通じて民生委員・児童委員活動の活性化を図るため、2地区を指定し、1地区年額100,000円(国63,000円、県37,000円)の活動費を助成した。

○助成金額合計：200,000円(国：126,000円、県：74,000円)

○指定期間：令和元年度から令和2年度の2ヵ年

○指定地区民児協の主な活動内容

### 平塚市横内地区民児協

<会長>川島辰治

<民生委員数>17名(男性：6名、女性：11名)

<世帯数・人口>197世帯 283名 外国籍市民の住居率が8%と高い。また、高齢者や一人暮らし世帯の増加や、貧困問題が課題。

<取組内容>

子どもサロンの開設と、そのPR活動

- ・未就児童に限らず、地域に住む小・中学校の児童やその親も含め、公民館や団地集会所で歌や園芸、時には健康に関する講義などで、お茶とお菓子でもてなし、懇親を深める。
- ・サロン開設案内はチラシやパンフレットを作成し、当該児童宅へ配布する。
- ・子どもサロンの展開を通じ、外国籍市民を含む子育て支援を拡充するとともに、貧困や虐待の早期発見につなげる。

<取り組んだ重点活動>

子どもサロン開催に向け準備

- ①公民館サポートネットワーク協議会に協賛依頼
- ②子どもたちの居場所作り

<具体的取組内容>

- ①民生委員、公民館サポートネットワーク協議会とともに子どもサロンの実施計画を立て、地域に広く知ってもらうための普及活動を行う。
- ②必要備品の購入

<実施の状況>

名称を「サンサンカフェ」とする。2月27日に開催予定ではあったが、新型コロナウイルスの感染警戒のため、中止となる。

### 鎌倉市第十地区民児協

<会長>千代美和子

<民生委員数>18名(男性：2名、女性：16名)

<世帯数・人口>約6,000世帯 約17,000名 高齢者の流出も多く世帯数は減少傾向

にある。

<重点事業>それぞれの民生委員の日々の活動が充実し、達成感のあるものとなるように、単位民児協の機能強化を図る。

<取組内容>①知識と経験・体験を通じて、直面する様々な事例に対応できるように、自主研修を実施し、研鑽に力を入れ、個人の力量・民児協のレベルアップを図る。

②なり手不足が叫ばれて久しいが、令和元年度の民生委員改選期では各地区での人選は例年にも増して困難だったと聞いている。高齢化著しい地域では、次の担い手を探すのは至難の業である。時代に即し、地域に合ったシステムと民生委員の在り方を早急に検討したい。

<取り組んだ重点活動>

認知症を体験する

<具体的取組内容>

金額としてはかなり高額の体験のため普段経験しにくいヴァーチャルリアリティによる認知症を体験する。

<実施の状況>

(株)シルバークラウドに依頼し、2月の開催が可能となった。2月の地区民児協定例会の中で実施。

### (3) ブロック活動の役割の確認と活動強化に向けた支援 経費：647,468円

各地域におけるニーズに応じた活動の展開を図るため、県内6ブロックそれぞれが実施する会議、研修会および関係機関との連絡会などをブロックの実状に応じて計画し、県民児協はその開催経費の助成を行なった。

また、共通課題を設定し「民生委員が児童委員を兼ねることの理解促進について」取り組んだ。

○ 助成金金額合計：560,050円

ブロック名	活動状況
横須賀・三浦 (4市1町) 横須賀市 鎌倉市 逗子市 三浦市 葉山町	○会議(3回) 7月8日： (1)各市町協議会の事業について ・平成30年度事業報告・決算 ・令和元年度事業計画・予算 (2)令和元年度ブロック会議活動内容について (3)その他(情報交換)：「令和元年度一斉改選について」など 12月13日： (1)各市町情報交換 ・自己紹介 ・令和元年度一斉改選の結果について ・欠員地区解消に向けての取り組みについて (2)その他(情報交換)
幹事地域：三浦市 助成額：60,000円	

	<p>3月13日：※新型コロナウイルスの影響により書面開催</p> <p>(1)令和元年度横須賀・三浦ブロック会議事業報告(案)について</p> <p>(2)令和2年度横須賀・三浦ブロック会議事業計画(案)について</p> <p>(3)令和2年度の研修について</p> <p>(4)その他(情報交換)：一斉改選結果について</p> <p>○連絡会(1回)</p> <p>10月11日：児童相談所との連絡会議</p> <p>(1)児童相談所における最近の事例について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・神奈川県鎌倉三浦地域児童相談所</li> <li>・横須賀市児童相談所</li> </ul> <p>(2)児童福祉にかかわる情報交換</p> <p>(3)その他(情報交換)</p>
<p>県央 (5市1町1村)</p> <p>厚木市 大和市 海老名市 座間市 綾瀬市 愛川町 清川村</p> <p>幹事地域：厚木市 助成額：135,000円</p>	<p>○ 会議(5回)</p> <p>5月15日：(1)平成30年度事業報告及び決算について</p> <p>(2)令和元年度事業計画(案)及び収入支出予算(案)について</p> <p>(3)研修会(案)について</p> <p>(4)その他</p> <p>9月19日：(1)小規模研修会(案)について</p> <p>(2)児童相談所との連絡会(案)について</p> <p>(3)市町村民児協活動の情報交換について</p> <p>(4)その他</p> <p>1月23日：(1)市町村民児協活動の情報交換について</p> <p>(2)その他 次年度の予定について</p> <p>※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、第4回県央ブロック会議を中止</p> <p>1月23日：主任児童委員情報交換会</p> <p>(1)児童委員活動の情報交換について</p> <p>(2)その他</p> <p>○ 研修会(2回)</p> <p>7月18日：「災害時における民生委員児童委員の活動」</p> <p>講師：鍵谷一(跡見学園女子大学 観光コミュニティ学部コミュニティデザイン学科教授・一般社団法人 福祉防災コミュニティ協会 代表理事)</p> <p>11月21日：「厚木市の子ども施策について」少子化社会における子育て施策の在り方・考え方</p> <p>講師：石井将人(市こども未来部 こども育成課 主任)</p> <p>○ 連絡会(1回)</p> <p>1月23日：児童相談所との連絡会</p> <p>(1)児童相談所の現状と課題について</p> <p>(2)意見交換</p> <p>(3)その他</p>
<p>湘南東 (2市1町)</p>	<p>○会議(4回)</p> <p>5月22日：(1)令和元年度の会議日程について</p>

<p>藤沢市 茅ヶ崎市 寒川町</p> <p>幹事地域：寒川町 助成額：60,000円</p>	<p>(2) 令和元年度一斉改選に向けた取り組み状況について</p> <p>8月28日：(1)「地域版 活動強化方策」について (2) 一斉改選について</p> <p>10月30日：(1) 台風19号に関する民生委員の対応について (2) 今期の民生委員活動を振り返って</p> <p>書面：(1) 令和元年度会議の日程について</p>
<p>湘南西 (3市2町) 平塚市 秦野市 伊勢原市 大磯町 二宮町</p> <p>幹事地域：二宮町 助成額：100,000円</p>	<p>○会議(3回)</p> <p>7月3日：(1) 令和元年度事業計画について (2) 各市町民児協からの提案議題について</p> <p>10月8日：(1) 児童養護施設の子どもたちから学ぶ児童虐待防止について</p> <p>書面開催：(1) 令和元年度事業報告について (2) 令和元年度収支決算(案)について (3) 令和2年度幹事について</p>
<p>足柄上 (1市5町) 南足柄市 中井町 大井町 松田町 山北町 開成町</p> <p>幹事地域：開成町 助成額：153,350円</p>	<p>○会議(9回)</p> <p>4月24日：(会計監査)</p> <p>(1) 平成30年度会計監査 (2) 平成31年度事業案・予算案の調整 (第1回ブロック会議)</p> <p>(1) 足柄上ブロック会務報告(平成30年度) (2) 平成30年度事業報告 (3) 平成30年度会計報告・会計監査報告 (4) 平成31年(令和元年)度事業計画 (5) 平成31年(令和元年)度予算 (6) 日頃の活動についての情報交換</p> <p>6月19日：(松田町/開成町交換民児協)</p> <p>第1部・意見交換 テーマ：「地域性」「学校行事」「レスパイトサービス」 「機関紙、相談会などの事業」</p> <p>第2部・HUG(避難所運営ゲーム) 2町混成のグループワーク形式で実施</p> <p>9月20日：(南足柄市岡本地区/山北町交換民児協)</p> <p>第1部・フィールドワーク(「パークゴルフ」で親睦等) 第2部・昼食会(情報交換会)、活動報告会</p> <p>10月2日：(第2回ブロック会議)</p> <p>(1) 足柄上ブロック会務報告(4~9月) (2) スケジュール調整</p>



- (3) 令和元年度研修テーマについて(大規模研修会、小規模研修会)
- (4) 民児委員一斉改選について

12月16日：(ブロック会長会議)

- (1) 足柄上地区ブロック民児協会議及び足柄上地区ブロック民生委員児童委員代表者会議の運営について
- (2) 一斉改選後のブロック民児協役員等の選出について  
(第3回ブロック会議)

- (1) 足柄上ブロック会務報告(10～11月)
- (2) スケジュール調整
  - ・令和元年度大規模研修について
  - ・一斉改選後のブロック民児協運営について

(ブロック民児協会長会議)

- (1) 事業(活動)計画案の交換民児協の調整
- (2) その他の事業(活動)計画の調整

2月26日：(ブロック会長会議)

- (1) 令和2年度足柄上地区ブロック民児協会議及び足柄上地区ブロック民生委員児童委員代表者会議の運営について
- (2) 大規模研修の最終打ち合わせ

3月23日：(ブロック会長会議)

- (1) 会計及び監査について
- (2) 令和2年度事業計画について
- (3) 令和元年度小規模研修中止の取り扱い

○研修会(1回)

2月26日：大規模研修会

講演「民生委員児童委員の地域での役割、地域での対話」～民生委員児童委員活動の中の輝き～

講師：渡邊朋子(県民児協事務局長(県社協地域福祉推進部長))

3月予定：小規模研修会

※一斉改選により11月から3月に変更したが、2月後半以降、新型コロナウイルス感染拡大防止により、中止とした

○連絡会(3回)

4月24日：(第1回小田原保健福祉事務所足柄上センター連絡会(足柄上地区民生委員児童委員代表者会議))

- (1) 小田原保健福祉事務所足柄上センターの事業概要
- (2) 要援護者安否確認の情報提供協力のしくみづくり
- (3) 情報交換

10月2日：(小田原児童相談所との連絡会)

- (1) 児童相談所、児童虐待の現況について
- (2) 児童相談所と要保護児童対策地域協議会(要対協)の役割について
- (3) 意見交換

	<p>(第2回小田原保健福祉事務所足柄上センター連絡会(足柄上地区民生委員児童委員代表者会議))</p> <p>足柄上センターから地域包括ケア推進の講演会に関する情報</p> <p>(1) 講演会「アンガーマネージメント」～怒りと上手につきあう～</p> <p>(2) 講演会「いつまでも自分らしくこの地域で暮らしていくには」～自立支援と介護予防を通じた支えあいのまちづくり～</p> <p>12月16日:(第3回小田原保健福祉事務所足柄上センター連絡会)</p> <p>(1) 小田原保健福祉事務所足柄上センターから地域包括ケア推進の講演会に関する情報</p>
<p>西湘 (1市3町) 小田原市 箱根町 真鶴町 湯河原町</p> <p>幹事地域:小田原市</p> <p>助成額:51,700円</p>	<p>○ 会議(3回)</p> <p>5月8日:(1)令和元年度事業計画・予算案協議 (2)第1回西湘ブロック研修会の検討 (3)情報交換</p> <p>10月7日:(1)小田原児童相談所との意見交換 (2)第2回西湘ブロック研修会の検討</p> <p>12月13日:(1)各市町民児協の新旧役員紹介 (2)神奈川県民児協役員についての協議 (3)第2回西湘ブロック研修会の検討</p> <p>○ 研修会(1回)</p> <p>7月23日:「児童養護施設から見た課題と地域で必要とされる支援」 講師:秋田長二郎(社会福祉法人児童養護施設ゆりかご園 園長)</p>

(4) 民生委員・児童委員活動に伴う保険加入促進助成事業の実施 経費:1,583,426円

民生委員・児童委員が地域での福祉活動等に参加する際に発生する事故や怪我に対して安心して活動できるよう、各市町村民児協で民生委員・児童委員に対しての保険加入を促進するために、掛け金の一部を助成した。

<助成金交付状況>※人数は延べ人数

市町村名	助成人数(人)	合計額(円)	市町村名	助成人数(人)	合計額(円)
横須賀市	0	0	綾瀬市	182	54,600
平塚市	530	159,000	愛川町	90	27,000
鎌倉市	290	87,000	清川村	11	3,300
藤沢市	651	195,300	葉山町	54	16,200
小田原市	450	135,000	寒川町	85	25,500
茅ヶ崎市	424	127,200	大磯町	77	23,100
逗子市	80	24,000	二宮町	67	20,100
三浦市	107	32,100	中井町	39	11,700
秦野市	346	103,800	大井町	46	13,800

厚木市	404	121,200	松田町	48	14,400
大和市	275	82,500	山北町	58	17,400
伊勢原市	185	55,500	開成町	56	16,800
海老名市	223	66,900	箱根町	54	16,200
座間市	190	57,000	真鶴町	20	6,000
南足柄市	61	18,300	湯河原町	69	20,700
			合計	5,172	1,551,600

#### (5) 生活福祉資金の積極的活用、社協との協働の促進

低所得、障がい者、高齢者世帯の生活自立支援に向け、生活福祉資金制度等の積極的な活用を図るため、県社協で開催した新任民生委員・児童委員やリーダー層に対する研修へ協力を行った。

また、県社協が児童福祉関係者を対象に実施した母子福祉研修会、県社協の諸事業に参加・協力した。

#### 4. 児童委員活動の強化（基盤づくり） 経費：2,553,805円

##### (1) 児童委員・主任児童委員連絡会議の開催

各市町村民児協の児童委員、主任児童委員を対象に、各民児協間での情報交換や日頃の活動を進める上での知恵を出し合い、今後の活動に資することを目的に本連絡会議を開催した。

開催期日	議 題
1.10.23 (49名)	<p>【意見交換のテーマ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域から孤立している子育て家庭とはどんな家庭？</li> <li>・参加者自身の活動経験をもとに、孤立している子育て家庭の発見と支援方法を考えよう</li> </ul> <p>【講師】西郷 泰之（大正大学児童福祉プロジェクト研究所 教授）</p>

##### (2) 児童委員・主任児童委員活動推進会議の開催

県内の児童委員、主任児童委員が集い、児童委員活動推進に向けて協議を行う児童委員・主任児童委員活動推進会議を開催した。

開催期日	内 容
1.11.11 (157名) 於：横浜市社会福祉センターホール	<p>孤立している子育て家庭に寄り添うために</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・孤立している子育て家庭とは</li> <li>・孤立している子育て家庭の理解について</li> <li>・孤立している子育て家庭への関わり方について 等</li> </ul> <p>【講師】西郷 泰之（大正大学児童福祉プロジェクト研究所 教授）</p>

**(3) 神奈川県民児協版児童委員・主任児童委員活動の手引きの発行**

児童委員・主任児童委員活動の更なる充実を図るため、平成30年度に「児童委員活動基盤づくり委員会」にて検討を行った内容を整理し、『親子とかかわり「つながる」ための7つのステップ～神奈川県民児協版児童委員・主任児童委員のためのヒント集～』として発行した。

〔児童委員活動基盤づくり委員会 委員構成（手引きの校正を実施）〕

- 角田 保子（逗子市児童委員）
- 久津間 勲（綾瀬市綾南地区民児協会長）
- 原田 稔（藤沢市長後地区民児協会長）
- 黒田 眞美江（平塚市主任児童委員）
- 石渡 和美（開成町主任児童委員）
- 梅原 紘明（湯河原町児童委員/湯河原町民児協会長）

**5. 研修事業の実施（本会主催研修事業） 経費：2,341,993円**

本会事業から見てきた課題をもとに研修テーマを設定し、本会主催の研修を開催した。さらに、各研修の成果を本会事業に反映した。

**(1) 市町村会長研修会**

12月の一斉改選に向けて、市町村民児協の役割を自身の言葉で説明できることを目指し、今期3年間の取り組みを振り返った。また、市町村民児協会長が「民生委員・児童委員一人ひとりへの支援」と「単位民児協への支援」のかじ取り役として先導することができるよう、話し合いをとおして市町村民児協会長としての役割への認識をあらためて深めた。

開催期日	内 容
1.9.26 (29名) 於：箱根路 開雲	今期の振り返りから市町村民児協会長の役割を考えよう ・市町村民児協会長としての今期3年の振り返り（グループワーク） ・委員一人ひとりへの支援としての取り組みについて ・単位民児協への支援としての取り組みについて

**(2) 地区会長研修会**

①第1回：神奈川県民児協が設立し50年が経過し、社会情勢が変化するなか、変わらず民生委員・児童委員が受け継いできた「住民に寄り添い活動する姿勢・思い」を、さらに次の世代へ伝えていくために気持ちを新たに作る機会として開催した。元本会役員から当時の体験談をもとに、活動に取り組んでいる中で大切にしてきた思いや、退任後に一住民となったことで見えてきた民生委員・児童委員に期待することについて話を聴き、参加者が自身の活動を振り返る機会となった。（神奈川県民児協設立50周年記念シンポジウム・第1回地区会長研修会）※再掲

開催期日	内 容
1.6.28 (地区民児協会 長・市町村民児 協事務局職員 167名)	「先達者とともに民生委員・児童委員のこれからを考える～故きを温ねて新しきを知る～」 ■記念シンポジウム シンポジスト：鈴木 立也（県民児協顧問） 小松 輝男（元県民児協会長）

於：神奈川県社会福祉会館	金田 和子 (元県民児協副会長) コーディネーター：豊田 宗裕 (聖徳大学 社会福祉学科 教授) ■アトラクション ～私たちの委員活動を次の世代へつなげよう<写真版タイムカプセル>～
--------------	--

②第2回：12月の一斉改選で新たな仲間を迎え、一人ひとりの考え方や価値観の違い、多様性を認め受け入れながら、自分の気持ちとどう付き合い、どのように仲間の委員に伝えていけばよいかのヒントを学び、今後の民児協運営に生かすことを目的に開催した。

開催期日	内 容
1. 12. 20 (地区民児協会 長・市町村民児 協事務局職員 171名) 於：神奈川県社 会福祉会館	「仲間の委員とよりよい関係を築くためのヒント」 ・さまざまな感情とのつき合い方 ・お互いに話しやすい関係を築きくための「聴き方」と「伝え方」 ・明日から実践できるヒント 等 【講師】八巻 香織 (特定非営利活動法人 TEENSPOST(ティーンズポスト)代表 理事)

③第3回：新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止

### (3) 課題別集中講座

あらためて振り返り、地区の将来を描くことの意義、それを委員皆さんで進めることの大切さについても、共に深めることを目的に、全民児連が普及している「地域版活動強化方策」の考え方を基に実施した。

開催期日等	内 容
Aコース:1.8.22 Bコース:1.8.23 Cコース:1.9.10 (民生委員・児童委 員、主任児童委員 172名(3日間合 計)) 於：すべて神奈川 県社会福祉会館	自分の地区の将来を「我が事化」して考えてみよう～活動強化方策の考え～ (1)なぜ今振り返りなのか、なぜ今地区の将来を描くのか (2)実際に地域を振り返ってみましょう～振り返る視点と方法～ (3)将来どんな地区にしていきたいか考えてみましょう (4)民生委員・児童委員としてできること～我が地区で力を入れたいことを考える～ (5)進め方のポイント (6)「地域版活動強化方策」とはなにか～内容と意義について～ 【講師】川上 富雄 (駒澤大学社会福祉学専攻 教授)

## 6. 情報提供の強化

(1) 『県民児協だより』の発行 経費：2,165,088円

『県民児協だより』(138号～141号)を発行した。また、発行に向け広報委員会を4回開催した。

(※ 1.(2)①「広報委員会」、②「通信員連絡会」の項参照)

<発行回数及び部数> 4回 各4,900部

<配布先> 会員全員、関係機関団体等

<掲載内容>

号数	コーナー名	掲載内容
138号	まなごし	湯河原町民児協
	特集1	これからも住民の身近な支援者として～守り続けるもの・変えるもの・伝えるもの～
	特集2	神奈川県令和元年度重点的な取り組み
	特集3	令和元年度県民児協事業計画・予算
	通信員だより	① 孤独にならない子育ての場 子育て支援センター(逗子市 小林明美) ② しっかり備蓄！防災意識の高まり(清川村 橋爪公子) ③ ステップアップ研修会(大井町 香川五月)
139号	まなごし	横須賀市民児協
	特集	高めよう！災害への「意識」と「備え」～安心・安全な地域を目指して～
	市町村民児協発活動研究レポートNo.43	「転入児世帯」との関わりに目を向けて(大井町民児協)
	NEWS&インフォメーション・編集雑感	平成29・30年度指定民児協の報告 平成30年度民生委員・児童委員活動推進事業報告 編集雑感(広報委員 大沢みき)
	通信員だより	① 手作りで愛情いっぱい「なかよしフェスタ」(南足柄市 高木早苗) ② 「新鮮な野菜がつなぐ地域の笑顔」(大磯町 佐藤茂樹) ③ 地域で助け合おう!!(箱根町 芝京子)
140号	まなごし	平塚市民児協
	特集	信頼関係を築く「個別訪問」～意義とポイントを考える～
	ひとネットワーク 地域と社会資源	誰もが気軽に集い学べる「認知症カフェ」
	通信員だより	① チーム「らいふ」情報交換会(海老名市 倉橋郁子) ② 秦野たばこ祭り千人パレード(秦野市 田村正一) ③ 家庭で備える「もしもごはん」防災食講座を受けました。(松田町 吉崎なつき)
141号	まなごし	鎌倉市民児協
	特集①	県民児協新役員体制のご紹介
	特集②	県・県社協からの激励メッセージ
	特集③	令和元年度(平成31年度)受章(賞)者紹介
	市町村民児協発活動研究レポートNo.44	中学生とのつながりと地域づくりを考える(小田原市富水地区民児協、東富水地区民児協)

また、県民児協だよりに挟み込む形で別刷りの資料を作成し、配布した。

神奈川県民児協50周年記念(県民児協だより139号に挟み込み)

神奈川県民児協データファイル No24(県民児協だより141号に挟み込み)

「平成30年度活動記録の集計結果について」

神奈川県民児協データファイル No25(県民児協だより141号に挟み込み)

「令和元(平成31)年度 個別援助票集計結果概要の報告」

## (2) 民生委員児童委員活動の広報の強化

### ① 民生委員児童委員活動PR事業

神奈川県民児協キャラクター「みんぴょん」を各市町村・地区民児協で活用しやすいよう、イラストデータの活用ガイドラインを策定し、イラストデータを配布した。また、新任委員向けに「みんぴょん」の缶バッジを作成し、配布した。

〈缶バッジ作成数〉 1,500個

県民児協キャラクター

みんぴょん



### ② 県民児協ホームページ等の運営

平成22年10月に開設した本会ホームページ (<http://www.kmjk.jp/>) について「県民児協だより」の公開等随時内容を更新する等、地域の民生委員・児童委員や一般住民に民生委員・児童委員活動の情報発信をした。また、全民児連や全社協、県等の関係機関団体より民生委員児童委員を対象に発行された資料等を市町村民児協を通じて、随時、情報として提供した。

### ③ 研修用DVD等研修資材の整備

各地区民児協の研修、学習会等の教材用DVDを各市町村民児協事務局を通じて貸出を行った。

貸出件数：9件

### ④ PR用ビブスの貸し出し

民生委員児童委員PR用のビブスを各市町村民児協事務局を通じて貸出を行った。

貸出件数：1件

## 7. 全国・関東ブロック会議等への参加

年月日	会議名	開催地	参加者数
1. 7. 4～5	令和元年度関東ブロック民生委員児童委員活動研究協議会	神奈川県	13名
1. 10. 17～18	令和元年度全国民生委員児童委員大会 ※台風19号の影響で中止	福島県	—
1. 7. 31～8. 1	令和元年度全国主任児童委員研修会（東日本）	東京都	6名
1. 8. 27～28	民生委員児童委員のための相談技法研修会（傾聴研修）	神奈川県	3名
1. 9. 2～4	令和元年度民生委員・児童委員リーダー研修会	神奈川県	3名
2. 1. 22～23	令和元年度全国児童委員研究協議会	東京都	6名
2. 2. 12～14	令和元年度全国民生委員指導者研修会	神奈川県	2名
1. 6. 6～7	令和元年度都道府県・指定都市市民児協事務局会議	東京都	2名

## 8. 関連団体・機関との連携、協働

- (1) 県社会福祉審議会、県児童福祉審議会、県介護保険審査会・保険給付等審査部会をはじめとした県関係の高齢・障がい・児童等の福祉関係の審議会や委員会等のほか、県薬事審議会やかながわ

高齢者保健福祉計画評価・推進等委員会をはじめとする保健関係の審議会や委員会、神奈川県学校・家庭・地域連携協力推進委員会などの教育関係の会議等に参加・協力するとともに、神奈川県共同募金会などの関係団体の会議等に参加・協力した。

また、神奈川県精神保健福祉協会、北方領土返還要求運動神奈川県民会議に負担金を納めるとともに、事業への参加・協力を行った。

## (2) 行政委託事業（県社協実施）への協力

神奈川県・横須賀市の行政機関からの委託事業として県社協が実施する研修事業の開催に協力した。これらは、民生委員法に基づく民生委員の指導訓練のために行政機関が行う研修となっている。

### ①新任民生委員児童委員研修会（同一内容で5回開催）

開催期日等	内 容
1. 12. 11 於：小田原市生涯学習センターけやきホール	オリエンテーション 「民生委員・児童委員としての土台づくり～やりがいと心がけ～」 ① 民生委員・児童委員の役割と制度の理解 ② 民生委員・児童委員のやりがいと楽しさ（事例報告） ③ 民生委員・児童委員活動の意義～今日の地域課題を踏まえて～
1. 12. 13 於：藤沢市民会館小ホール	今後の活動で大切にしていきたいこと（モットー）を考える 「個別援助票・調査事務・活動記録について」 ・各活動内容、目的、留意点について
1. 12. 18 於：二宮町生涯学習センターラディアン	「生活福祉資金貸付制度について」 ・生活福祉資金貸付制度の目的と種類について ・生活福祉資金貸付制度における民生委員児童委員の役割
1. 12. 23 於：海老名市文化会館大ホール	【講師】岩崎 雅美（東京家政大学准教授） 織田 鉄也（よこはま北部ユースプラザ施設長） 【事例報告】石塚ミドリ（小田原市民児協）、山崎由起子（小田原市民児協）、小西悦子（寒川町民児協）、五十嵐優子（茅ヶ崎市民児協） 天羽輝彦（平塚市民児協）、北村均（秦野市民児協） 久田妙子（海老名市民児協）、二ノ宮要子（綾瀬市民児協） 井澤與（横須賀市民児協）、羽田志津枝（葉山町民児協）
1. 12. 26 於：横須賀市総合福祉会館	

### ②民生委員児童委員リーダー研修会Ⅰ・Ⅱ（同一内容で2回開催）

開催期日等	内 容
2. 1. 23 於：小田原箱根商工会議所	自分ごとと捉えて推進する民生委員児童委員による地域福祉 ～今日求められる地域福祉のリーダー像を探る！～ 【講師】佐塚 玲子（特定非営利活動法人よこはま地域福祉研究センターセンター長）
2. 2. 7 於：プロミティ厚木	

※藤沢・横浜会場については新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止



- ③ 民生委員児童委員リーダー研修会Ⅲ・Ⅳ
  - ④ 民生委員児童委員テーマ別研修Ⅰ
  - ⑤ 民生委員児童委員テーマ別研修Ⅱ
  - ⑥ 民生委員児童委員テーマ別研修Ⅲ
  - ⑦ 民生委員児童委員テーマ別研修Ⅳ
- ※新型コロナウイルス感染症  
感染拡大防止のため中止

(3) 全民児連分担金として 3,157,000 円を納めた。

(4) 関東甲信越 1 都 10 県 8 政令市の民生委員児童委員をもって組織する関東ブロック民生委員児童委員連合協議会会費として 92,460 円を納めた。

(5) 令和元年の台風 19 号に際して、広島県民児協より支援金を、北海道民児連・岡山県民児協より見舞金を寄付いただいた。

(6) 令和元年の台風 15 号及び 19 号に対して、被災地民生委員児童委員及び被災地民児協の支援として支援金の協力を各市町村民児協に求め、本会でとりまとめ被災地民児協に寄付を行った。

令和元年台風 15 号及び 19 号

募金額	1,920,231 円	
送金額・送金先	1,923,000 円	
	(内訳)	宮城県民児協 239,000 円
※端数は県民児協負担		福島県民児協 373,000 円
		栃木県民児協 306,000 円
		千葉県民児協 598,000 円
		長野県民児連 407,000 円

(7) 「公立学校共済組合退職予定者説明会」にて民生委員・児童委員の役割を説明するためにパンフレット配布協力をした。

# 決 算 報 告

# 平成31/令和元年度 神奈川県民生委員児童委員協議会収入支出決算書 (案)

収入決算額 51,385,981 円 自 平成31年4月1日  
 支出決算額 49,026,713 円 至 令和2年3月31日  
 差引残額 2,359,268 円 (次年度へ繰越)

科目		当初予算額 ①	補正額 ②	予算現額 ③(①+②)	決算額 ④	差引増減(△) (③-④)	説 明
大区分	小区分						
1. 会費		29,367,000	0	29,367,000	29,308,500	58,500	
1. 会費		29,367,000	0	29,367,000	29,308,500	58,500	
1. 会費		29,367,000		29,367,000	29,308,500	58,500	年会費(⑥,500)×実数
2. 補助金		13,821,000	0	13,821,000	15,366,900	△ 1,545,900	
1. 補助金		5,295,000	0	5,295,000	5,293,000	2,000	
1. 補助金		5,295,000	0	5,295,000	5,293,000	2,000	神奈川県
1. 補助金				0	0	0	横須賀市
2. 神奈川県委託費		0	0	0	0	0	
1. 神奈川県委託費		0		0	0	0	
3. 全社協助成金		7,742,000	0	7,742,000	9,287,900	△ 1,545,900	
1. 全国互助共励事業 助成金		7,742,000	0	7,742,000	9,287,900	△ 1,545,900	互励事業費補助
				0	0	0	共励事業費補助
				0	0	0	取扱事務費補助
4. 県社協助成金		784,000	0	784,000	786,000	△ 2,000	
1. 民生委員部会助成金		784,000	0	784,000	786,000	△ 2,000	

(単位 円)

科目		当初予算額 ①	補正額 ②	予算現額 ③(①+②)	決算額 ④	差引増減(△) (③-④)	説明
大区	小区分						
3.	諸収入	40,000	0	40,000	2,518,112	△ 2,478,112	
	1. 諸収入	0	0	0	2,402,608	△ 2,402,608	
	1. 諸収入	0	0	0	2,402,608	△ 2,402,608	台風19号見舞金(岡山県、北海道、広島県民児協より)
	1. 雑収入	40,000	0	40,000	115,504	△ 75,504	
	1. 物資斡旋収入	10,000	0	10,000	0	10,000	
	2. 雑収入	30,000	0	30,000	115,504	△ 85,504	預金利息、一斉改選表彰状筆耕料等
4.	積立金取崩収入	6,867,000	0	6,867,000	2,649,267	4,217,733	
	1. 積立金取崩収入	6,867,000	0	6,867,000	2,649,267	4,217,733	
	1. 退任記念品取崩収入	3,490,000	0	3,490,000	272,267	3,217,733	
	2. 一斉改選積立金取崩収入	1,000,000	0	1,000,000	0	1,000,000	
	3. 運用準備積立金取崩収入	2,377,000	0	2,377,000	2,377,000	0	
5.	繰入金	10,000	0	10,000	0	10,000	
	1. 繰入金	10,000	0	10,000	0	10,000	
	1. 基本財産繰入金	10,000	0	10,000	0	10,000	
6.	繰越金	1,139,000	404,202	1,543,202	1,543,202	0	
	1. 繰越金	1,139,000	404,202	1,543,202	1,543,202	0	
	1. 前年度繰越金	1,139,000	404,202	1,543,202	1,543,202	0	
	収入合計	51,244,000	404,202	51,648,202	51,385,981	262,221	

## (支出の部)

(単位 円)

大区分	中区分	科目		当初予算額 ①	補正額 ②	予算現額 ③ (①+②)	決算額 ④	差異 (③-④)	説 明
		目	小区分						
1.	運 営 費			14,808,000	0	14,808,000	13,853,956	954,044	
	1. 役 員 費			1,627,000	0	1,627,000	1,264,712	362,288	
	1. 役員会費			1,565,000	0	1,565,000	1,222,736	342,264	正副会長会議 常任理事会 理事事 監事 総会
	2. 役員旅費			21,000	0	21,000	19,660	1,340	正副会長・各種委員会委員旅費等
	3. 役員交際費			31,000	0	31,000	19,547	11,453	大会祝金・慶弔費用
	4. 支援・交流費			10,000	0	10,000	2,769	7,231	
	理 費			13,181,000	0	13,181,000	12,589,244	591,756	
	1. 職員旅費			16,000	0	16,000	3,029	12,971	事務局職員出張旅費
	2. 需用費			514,000	0	514,000	561,245	△ 47,245	消耗品費 印刷製本費 来客接待費
	3. 役務費			300,000	0	300,000	117,628	182,372	送金手数料、通信運搬費
	4. 借料及び損料			169,000	0	169,000	65,945	103,055	会議室使用料 会計ソフト管理料
	5. 備 品 費			10,000	0	10,000	0	10,000	
	6. 負 担 金			12,162,000	0	12,162,000	11,841,397	320,603	全社協互助共励会費 全市民連会費 関プロ会費 県内団体会費等 全国事務担当者会議等参加費
	7. 賃 金			10,000	0	10,000	0	10,000	アルバイト賃金
2.	育 成 事 業 費			25,864,000	270,000	26,134,000	23,954,882	2,179,118	
	1. 研 修 費			5,366,000	0	5,366,000	4,823,754	542,246	
	1. 研修会費			2,418,000	0	2,418,000	2,730,710	△ 312,710	市町村会長研修 地区会長研修 課題別集中講座 児童委員活動推進関連事業 研修企画用PC・プリンターリース料 研修企画用通信運搬費等
	2. 全国会議等研修会			2,228,000	0	2,228,000	1,368,262	859,738	全国大会(キャンセル料) 関東ブロック活動研究協議会 全国民生委員指導者研修会 全国主任児童委員研修会 全国児童委員研究協議会 民生委員リーダー研修会 全国相談技法研修会
	3. 資料購入費			720,000	0	720,000	724,782	△ 4,782	民生委員児童委員活動関連資料

大区分	科目		当初予算額 ①	補正額 ②	予算現額 ③ (①+②)	決算額 ④	差異 (③-④)	説 明
	中区分	小区分						
	2. 調査広報費		7,170,000	270,000	7,440,000	6,138,680	1,301,320	
		1. 委員会費	633,000	0	633,000	174,731	458,269	総合企画委員会 広報委員会 通信員連絡会
		2. 広報活動費	6,478,000	270,000	6,748,000	5,811,940	936,060	県民児協だより発行費 民生委員児童委員活動PR作成費 児童委員主任児童委員活動の手引き HP管理費、広報活動用PCリース料 情報提供等通信運搬費等
	3. 連絡調整 会議費		59,000	0	59,000	152,009	△ 93,009	事務担当者会議 児相長との連絡会議 県行政との懇談会
		3. 地域福祉活動費	13,318,000	0	13,318,000	12,992,448	325,552	
		1. 市町村民児協 支援費	9,832,000	0	9,832,000	9,831,500	500	
	2. 活動推進費		2,754,000	0	2,754,000	2,760,104	△ 6,104	個別援助票等印刷代 ブック別活動助成費 保険掛金助成金
		3. 指定民児協 推進費	732,000	0	732,000	400,844	331,156	指定民協助成 活動推進事業
		4. 物資斡旋費	10,000	0	10,000	0	10,000	民生委員バッジ・ネットクレス等
3. 互助事業費	1. 県単互助事業費	1. 物資斡旋費	10,000	0	10,000	0	10,000	
			6,603,000	0	6,603,000	8,714,267	△ 2,111,267	
		1. 県単巾着金	1,240,000	0	1,240,000	1,140,000	100,000	
2. 全国互助事業費	1. 全国巾着金	2. 県単見舞金	460,000	0	460,000	320,000	140,000	
			780,000	0	780,000	820,000	△ 40,000	
		1. 873,000	0	1,873,000	1,474,000	399,000		
3. 退任記念品作成費	1. 退任記念品作成費		745,000	0	745,000	480,000	265,000	
			1,128,000	0	1,128,000	994,000	134,000	
			3,490,000	0	3,490,000	6,100,267	△ 2,610,267	
4. 積立金	1. 積立金	1. 退任記念品作成費	3,490,000	0	3,490,000	6,100,267	△ 2,610,267	
			3,959,000	0	3,959,000	2,503,608	1,455,392	
			3,959,000	0	3,959,000	2,503,608	1,455,392	
5. 予備費	1. 予備費	1. 退任記念品積立金等	3,939,000	0	3,939,000	101,000	3,838,000	退任記念品積立金
		2. 運用準備金積立金	10,000	0	10,000	2,402,608	△ 2,392,608	運用準備金
		3. 一斉改選積立金	10,000	0	10,000	0	10,000	一斉改選準備積立金
			134,202	144,202	0	144,202		
			134,202	144,202	0	144,202		
			134,202	144,202	0	144,202		
			51,244,000	404,202	51,648,202	49,026,713	2,621,489	

# 貸 借 対 照 表

令和2年3月31日現在

(単位：円)

資産の部		負債・純財産の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	6,928,217	流動負債	2,517,889
現金	1,495	未払金	2,514,214
預金	6,790,848	預り金	3,675
未収金	111,000		
立替金	8,774		
前払費用	16,100		
		基金	21,834,523
固定資産	35,547,492	基本財産基金	21,834,523
基本財産	21,834,523		
預金	21,834,523		
		積立金	15,764,029
運用財産	13,712,969	退任記念品作成準備積立金	3,606,825
預金	13,712,969	運用準備金積立金	10,106,144
		一斉改選積立金	2,051,060
		繰越金	2,359,268
		繰越金	2,359,268
資産合計	42,475,709	負債・純財産合計	42,475,709

## 固定資産増減明細書

令和2年3月31日現在

(単位:円)

資産	期首繰越	期中増	期中減	期末残高	
基本財産	21,832,674	1,849	0	21,834,523	(別表1-(h))
預金	21,832,674	1,849	0	21,834,523	
運用財産	14,772,731	1,589,505	2,649,267	13,712,969	(別表1-(d)+(e)+(f))
固定資産	14,772,731	1,589,505	2,649,267	13,712,969	
預金	14,772,731	1,589,505	2,649,267	13,712,969	
その他固定資産	0	0	0	0	
	36,605,405	1,591,354	2,649,267	35,547,492	

## 積立金明細書

令和2年3月31日現在

(単位:円)

区分	前期繰越金	当期		貸借対照表 計上額	
		増加額	減少額		
1. 退任記念品作製準備積立金	3,793,059	86,033	272,267	3,606,825	(別表1-(d))
2. 運用準備金積立金	10,979,672	1,503,472	2,377,000	10,106,144	(別表1-(e)+(f))
3. 一斉改選積立金	2,051,042	18	0	2,051,060	(別表1-(g))
合 計	16,823,773	1,589,523	2,649,267	15,764,029	



# 財 産 目 録

令和2年3月31日現在

<b>(資</b>	<b>産)</b>		42,475,709 円		
1.	基 本 財 産		21,834,523 円		
	(1) 預 金		21,834,523 円	(別表1)	(h)
2.	運 用 財 産		20,641,186 円		
	流 動 資 産		6,928,217 円		
	(1) 現 金		1,495 円		
	(2) 預 金		6,790,848 円	(別表1)	(a)+(b)+(c)+(g)
	(3) 前 払 費 用		16,100 円	(別表2)	
	(4) 立 替 金		8,774 円	(別表3)	
	(5) 未 収 金		111,000 円	(別表4)	
	固 定 資 産		13,712,969 円		
	(1) 預 金		13,712,969 円	(別表1)	(d)+(e)+(f)

※固定資産増減明細書「基本財産」

※固定資産増減明細書「運用財産」

<b>(負</b>	<b>債)</b>		2,517,889 円		
1.	流 動 負 債		2,517,889 円		
	(1) 未 払 金		2,514,214 円	(別表5)	
	(2) 預 り 金		3,675 円	(別表6)	

差引正味財産 ( (資産) - (負債) )      39,957,820 円

---

## 《資 産》

別表1 預 金

(単位：円)

種類	会計名	一般口	退任記念品作 製準備積立	運用準備金 積立	一斉改選 積立	基本財産	合計
	銀行名						
普通 預金	横浜銀行 横浜駅前支店				2,051,060 (g)		2,051,060
	三井住友信託銀行 芝営業部	5,565 (a)	3,606,825 (d)				3,612,390
	三井住友銀行 横浜駅前支店	4,734,223 (b)		2,380,039 (e)			7,114,262
通知 預金	横浜銀行 横浜駅前支店※	0 (c)					0
定期 預金	三井住友信託銀行 芝営業部			7,726,105 (f)		21,834,523 (h)	29,560,628
合 計		4,739,788	3,606,825	10,106,144	2,051,060	21,834,523	42,338,340

※通帳整理に伴い、通知預金（横浜銀行横浜駅前支店）を解約。三井住友銀行（一般口）へ資金移動。

別表2 前払費用

16,100 円

(単位：円)

番号	摘要	
1	令和2年度地区民児協会長研修会 会場利用料	16,100
合計		16,100

別表3 立替金

8,774 円

(単位：円)

番号	摘要	
1	災害に備えるハンドブック【立替分】	3,608
2	災害に備えるハンドブック【立替分】	5,166
合計		8,774

別表4 未収金

111,000 円

(単位：円)

番号	摘要	
1	互助事業費給付金（3月申請分）	111,000
合計		111,000

《負債》

別表 5

未払金

2,514,214 円

(単位：円)

番号	摘要	
1	令和元年度台風19号支援金（広島県民児協より）	900,000
2	パンフレット等送付のためのダンボール購入費	4,516
3	宅配便等送料（3月分）	52,855
4	郵送料（2月分）	89,020
5	郵送料（3月分）	98,403
6	互助事業費給付金（3月申請分）	186,000
7	退任記念品積立口座への資金移動	15,000
8	県民児協発行物のスキャニング	208,560
9	児童委員活動ヒント集印刷製本費	836,000
10	児童委員活動ヒント集梱包送料	122,100
11	名義相違手数料	1,760
合計		2,514,214

別表 6

預り金

3,675 円

(単位：円)

番号	摘要	
1	1～3月分源泉所得税預り金	3,675
合計		3,675

# 監 査 意 見 書

令和2年 5月 27日

神奈川県民生委員児童委員協議会会長 殿

神奈川県民生委員児童委員協議会会則第19条の定めるところにより、平成31（令和元）年度における業務の執行状況並びに財務状況について、当該年度の事業報告及び収支決算、貸借対照表並びに財産目録、更にはこの内容を証する関係諸帳簿、証拠書類を精査したところ、適正かつ正確に処理されていることを認める。

神奈川県民生委員児童委員協議会

監事 千代 美和子 (印)

# 監 査 意 見 書

令和2年 5 月 27 日

神奈川県民生委員児童委員協議会会長 殿

神奈川県民生委員児童委員協議会会則第19条の定めるところにより、平成31（令和元）年度における業務の執行状況並びに財務状況について、当該年度の事業報告及び収支決算、貸借対照表並びに財産目録、更にはこの内容を証する関係諸帳簿、証拠書類を精査したところ、適正かつ正確に処理されていることを認める。

神奈川県民生委員児童委員協議会

監事 瀬戸昌子

